

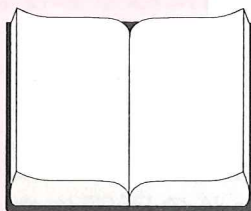
# 取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL

トヨタマシン



JUSTFIT SEWING MACHINE



- ・このたびは当社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に必ず最後までお読みください。お読みなった後も、いつでも取り出せる場所に保管してください。
- ・他の人に譲渡した場合は取扱説明書も渡してください。

## 型名

MS3-2D・H型

MS3-2D・L型

MS3-2D・U型



MS3-2D・S型

## 安全上のご注意（ご使用になる前に必ずお読みください）





お使いいただく人や他の人への危害や損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のような方法で説明しています。

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損失を「⚠警告」と「⚠注意」に区分し、お守りいただく内容を絵表示を使用し説明していますので、必ずお守りください。



### 「⚠警告」「⚠注意」の意味

 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### 「絵表示」の意味

	触れる行為の禁止を表わしています。
	してはいけない行為を表わしています。
	必ずおこなっていただくことを表わしています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを表わしています。


### **警告**

	交流100Vでご使用ください。 感電・火災の原因になります。
	ミシンの使用後、ミシンから離れる時、停電した時は、電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・火災・ケガの原因になります。


# 注意


 ボビンカバーは閉じて  
ご使用ください。

ケガの原因になります。


 針交換や上糸、下糸セ  
ット時は電源スイッチ  
を「切」にしてくださ  
い。


ケガの原因になります。

 ミシンを操作中は、針  
から目を離さないよう  
にしてください。  
もし針が折れた時ケガを  
する原因になります。


 針・はずみ車など動い  
ている部分に触れない  
でください。


ケガの原因になります。


 お子様のご使用になる  
時は、保護者の指導の  
もとにご使用ください。  
ケガの原因になります。

 電源コードを傷つけた  
り、加工したり、無理  
に曲げたり、引張った  
り、ねじったりしない  
でください。

感電・火災の原因になり  
ます。

 小さなお子様の近くで  
は使用しないでくださ  
い。  
針などに触れてケガを  
する原因になります。

 ミシンを使用する前に  
押え止めネジ、針止め  
ネジ、針板止めネジが  
しっかり締まっている  
こと、及び、押えが押  
えホルダーに確実にセ  
ットされていることを  
確認ください。  
ケガの原因になります。

 次のような行為をしな  
いでください。ケガの  
原因になります。

- ・ 押えを下げずに縫う
- ・ 針の取付けがまちが  
っている
- ・ 曲がった針を使用す  
る
- ・ 布を引張って縫う
- ・ 裁縫中に模様ダイヤ  
ルを動かす

● 付属品の名称.....	P 2
● 各部の名称.....	P 3
● 縫う前の知識.....	P 5
1.各部のはたらき.....	P 5
2.電源コードのつなぎかた.....	P 7
3.はずみ車.....	P 7
4.押え上げレバー.....	P 7
5.スピード調節ツマミ.....	P 8
6.スタート・ストップボタン.....	P 8
7.上糸調子ダイヤル.....	P 8
8.送り調節ダイヤル.....	P 8
9.返し縫いレバー.....	P 9
10.スプールキャップ.....	P 9
11.フリーアームにするには.....	P 9
12.模様選択ダイヤル.....	P10
13.押えのとりかえかた.....	P10
14.押えホルダーのとりかえかた.....	P11
15.針のとりかえかた.....	P11
● 模様の紹介.....	P12
● 縫う準備をしましょう.....	P13
1.下糸の巻きかた.....	P13
2.ボビンカバーのはずしかたと、はめかた.....	P14
3.ボビンのセット.....	P14
4.上糸のかけかた.....	P15
5.糸通し器の使いかた.....	P17
6.下糸の引き出しかた.....	P18
● 縫ってみましょう ①基本編.....	P19
1.直線縫い.....	P19
針と布地の関係.....	P20
正しい糸調子とは.....	P20
2.返し縫い.....	P21
3.ジグザグ縫い.....	P22
● 縫ってみましょう ②応用編.....	P23
1.ボタンホール.....	P23
2.ファスナーつけ.....	P25
3.裁ち目かがり.....	P26
4.まつり縫い.....	P27
5.強化縫い.....	P28
6.アップリケ.....	P29
7.シャーリング.....	P29
8.キルティング（直線）.....	P31
9.キルティング（曲線）.....	P32
10.パッチワーク.....	P33
● ミシンのお手入れ.....	P35
1.送り歯とかまのお手入れ.....	P35
2.注油のしかた.....	P35
3.ボビンケースの入れかた.....	P36
4.ランプの交換.....	P36
● ミシンの調子が悪いとき.....	P37
● ミシンの保管方法.....	P39
● 仕様.....	P39
● 修理サービスについて.....	P40

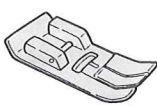
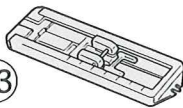

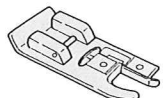
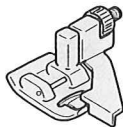

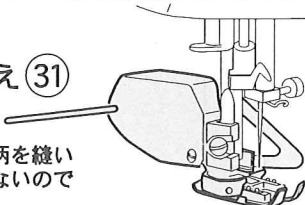

# 付属品の名称

○内の数字はその付属品を使用しているページです。

■押えの交換はP10をご覧ください。

■付属品は補助テーブルに入っています。必ず本機専用の付属品をご使用ください。

■型名により、入っていない付属品もあります。型名はミシンの背面に記載してあります。

ア	ジグザグ押え (22) (本体にセット)		1個
イ	ボタンホール押え (23)		1個
ウ	ファスナー押え (25)		1個
エ	裁ち目かがり押え (26)		1個
オ	まつり縫い押え (27)		1個
カ	テフロン押え (樹脂製) (2D・H型、2D・L型のみ)		1個
キ	上送り押え (31) 別売品		1個
ク	ダーニング押え (32) 別売品		1個

♥ ビニールコーティングした布などを縫う場合に使うと、布送りがスムーズです。

♥ チェック柄、しま柄を縫い合わせる時にズレないので便利です。

♥ 布と布の間にキルト綿を入れて、曲線のキルト縫い模様が自在に縫えます。

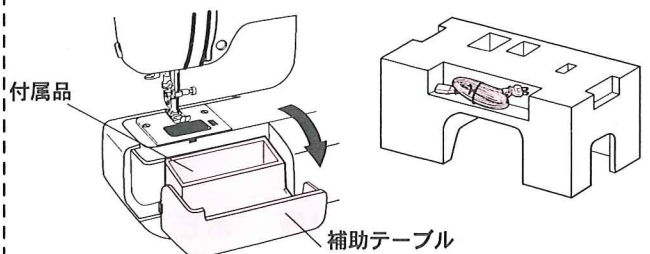
リッパー (24)		1個
スプールキャップ (9) (本体にセット)		1個
ボビン (13) 「ボビンは専用のプラスチックボビンをお使いください。」		3個
針 (11)		1セット
ブラシ (35)		1個
ミシン油 (35) (2D・H型、2D・L型のみ)		1個
ドライバー (36) (2D・H型、2D・L型のみ)		大小各1個
針板ドライバー (11) (35)		1個
刺しゅう用補助板 (32) 別売品		1個

## ●補助テーブル

付属品は補助テーブルの中に

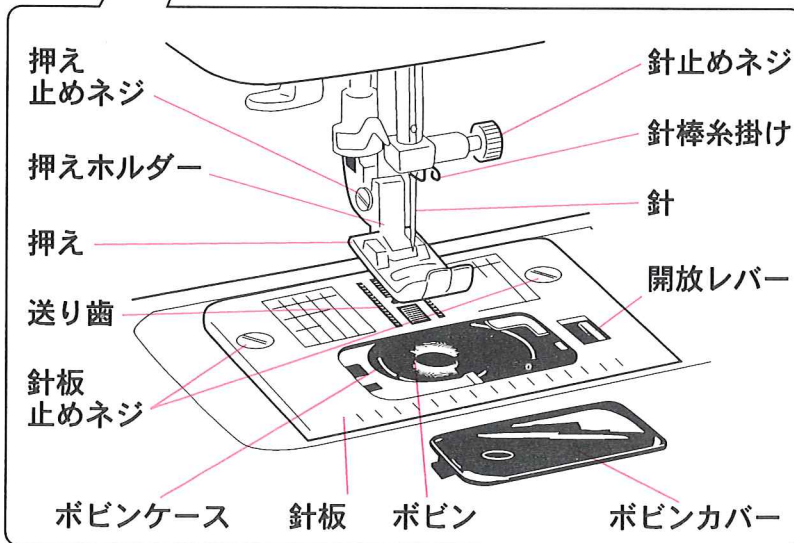
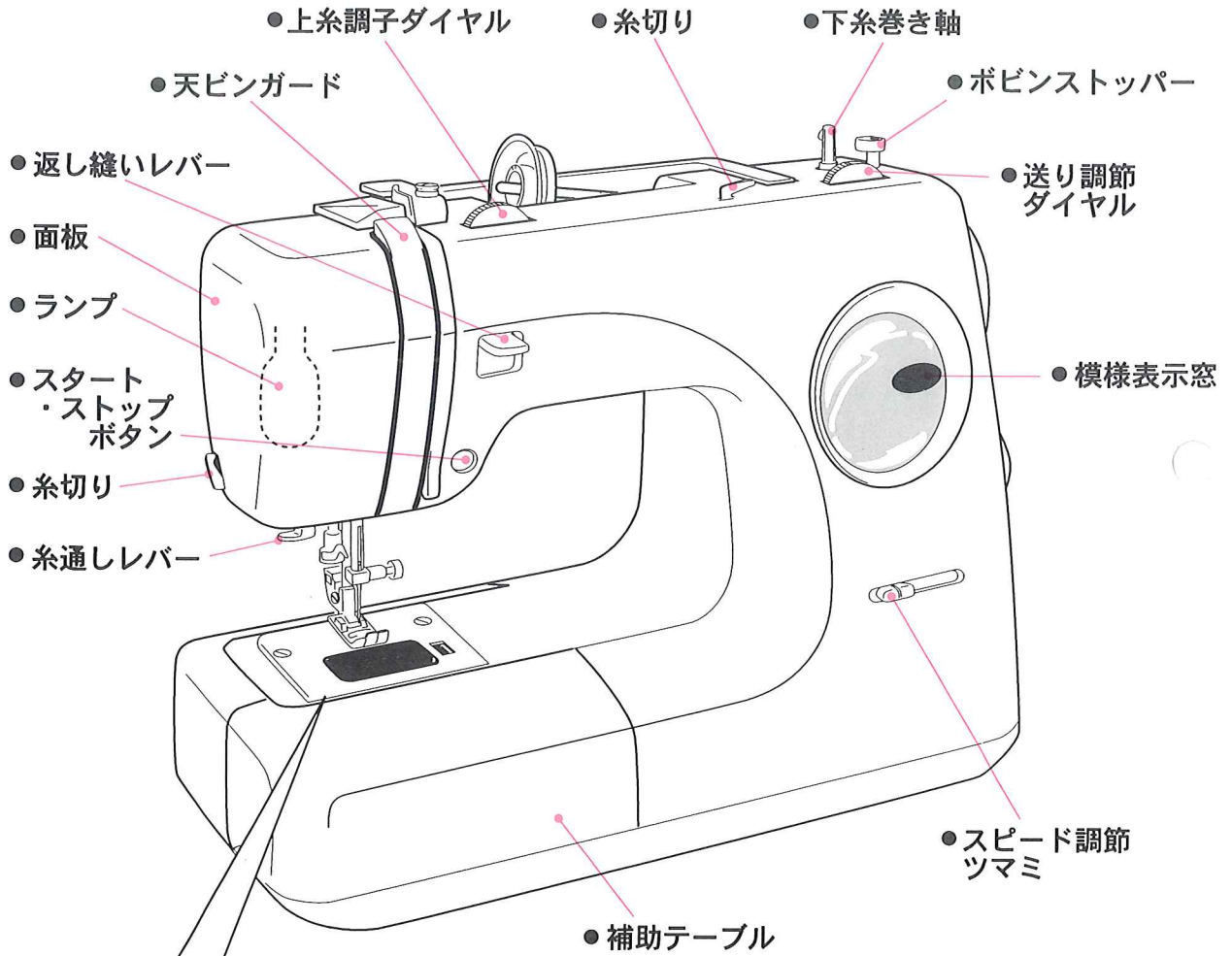
## ●電源コード

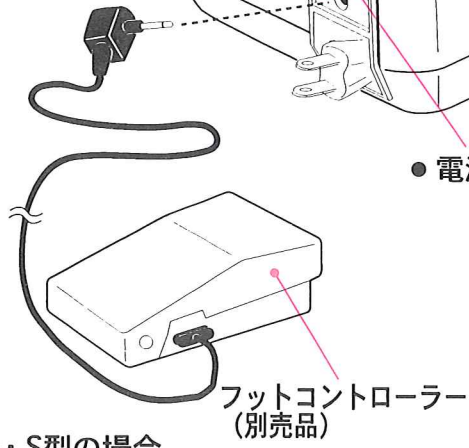
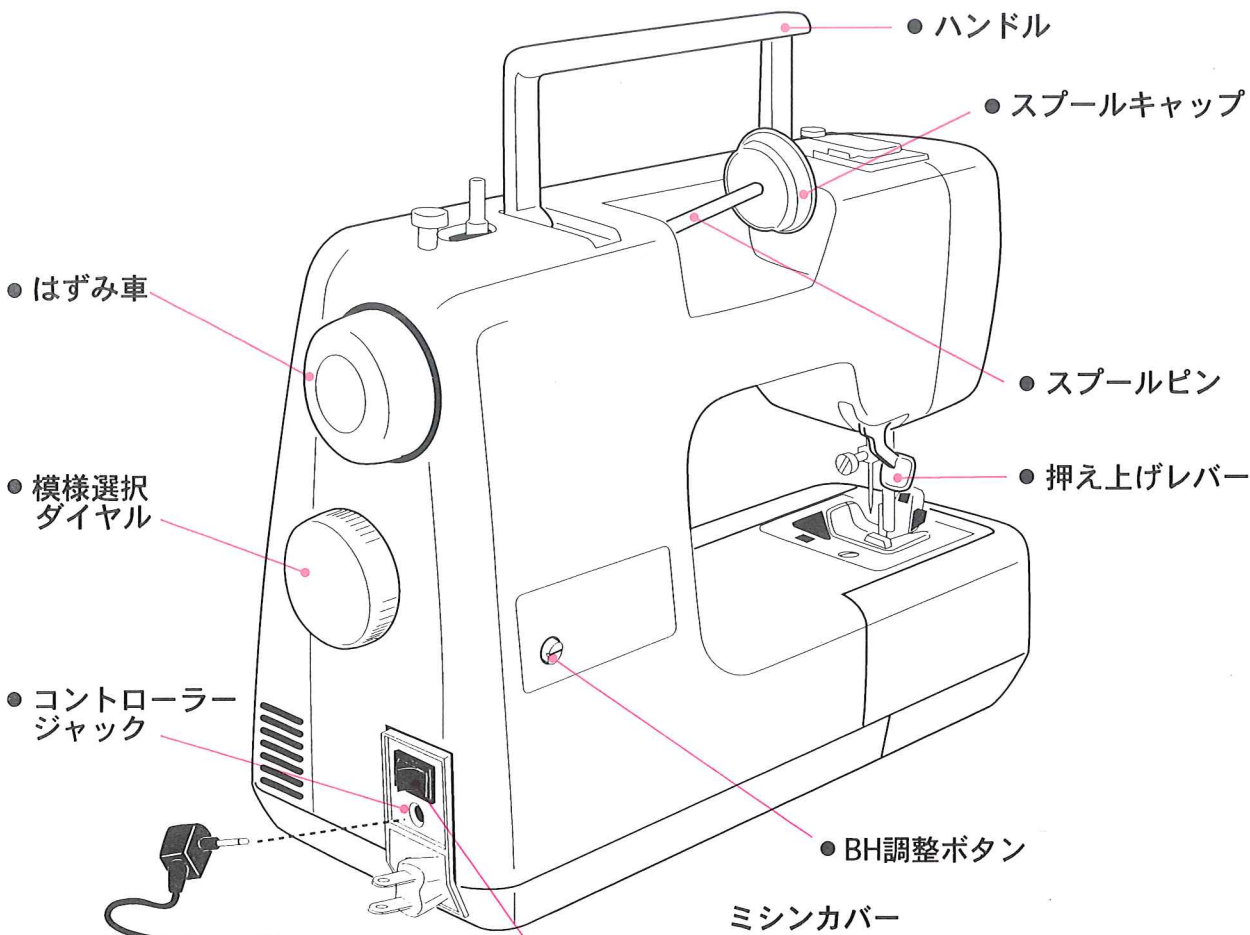
2D・S型の電源コードは、梱包スチロールに貼り付けられています。



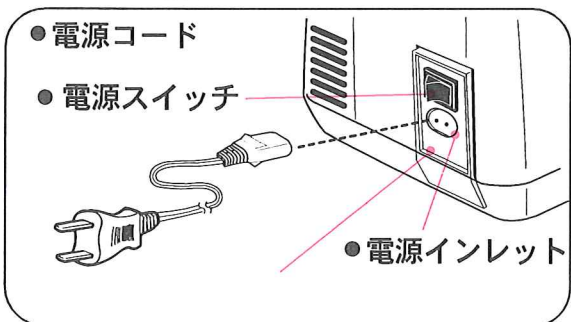
# 各部の名称

※説明図は現物と多少異なることがあります。





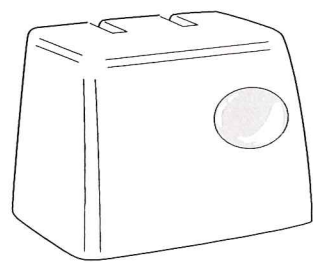
2D・S型の場合



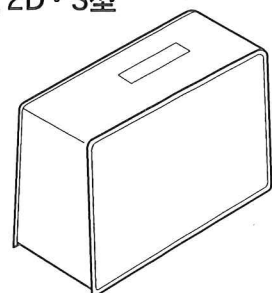
(コントローラージャックはありません)

ミシンカバー

2D・H型、2D・L型



2D・U型、2D・S型



# 縫う前の知識

## 1.各部のはたらき

自動糸調子だから、縫い模様を選ぶと自動的に適切な縫い目になります。

(2D・H型のみ)

(P8参照)

天びんの位置に関係なく、糸が掛けられます。

(P15参照)

自動返し縫いだから、スタート・ストップボタンを押さなくてもレバーでスタートできます。

(P9参照)

糸通し器つきだから、針への糸通しがラクにできます。

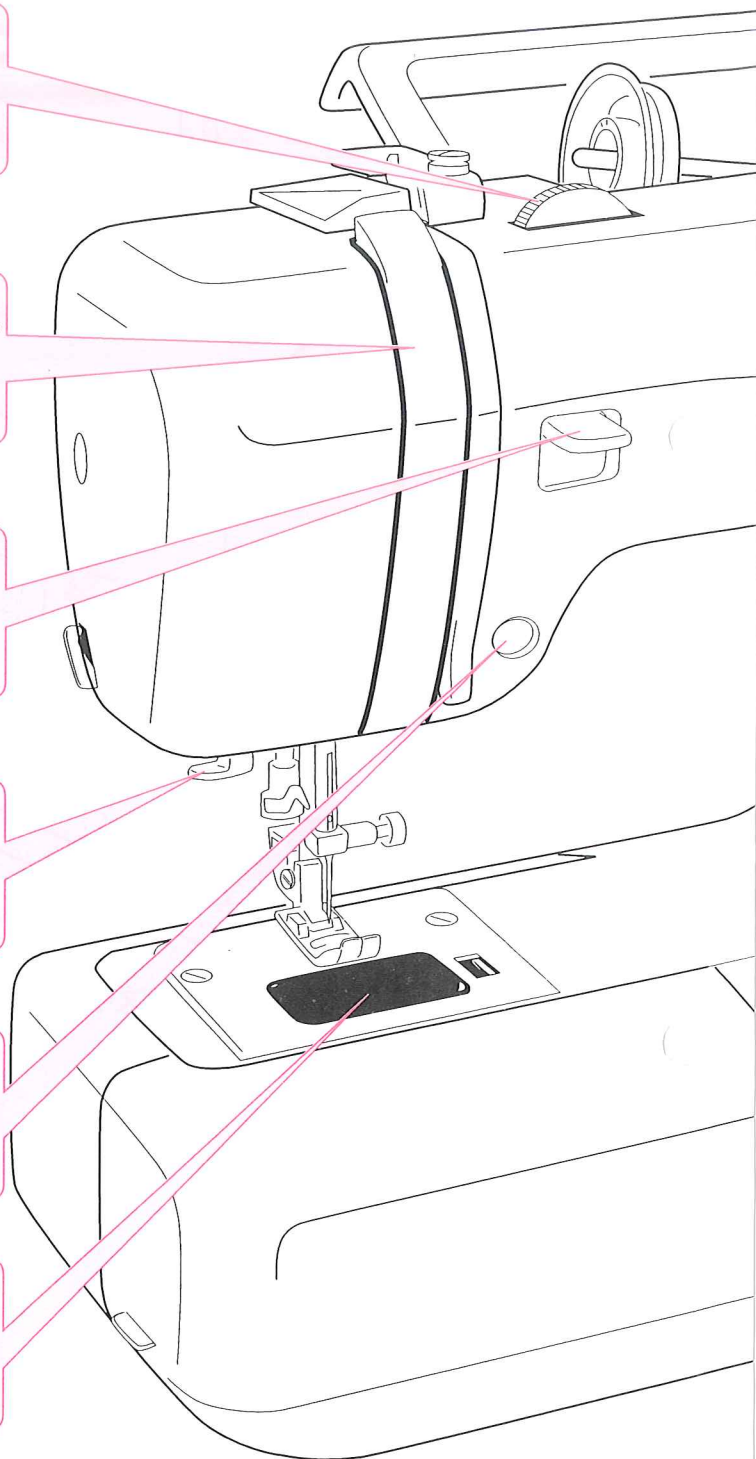
(P17参照)

スタート・ストップは手元でできます。

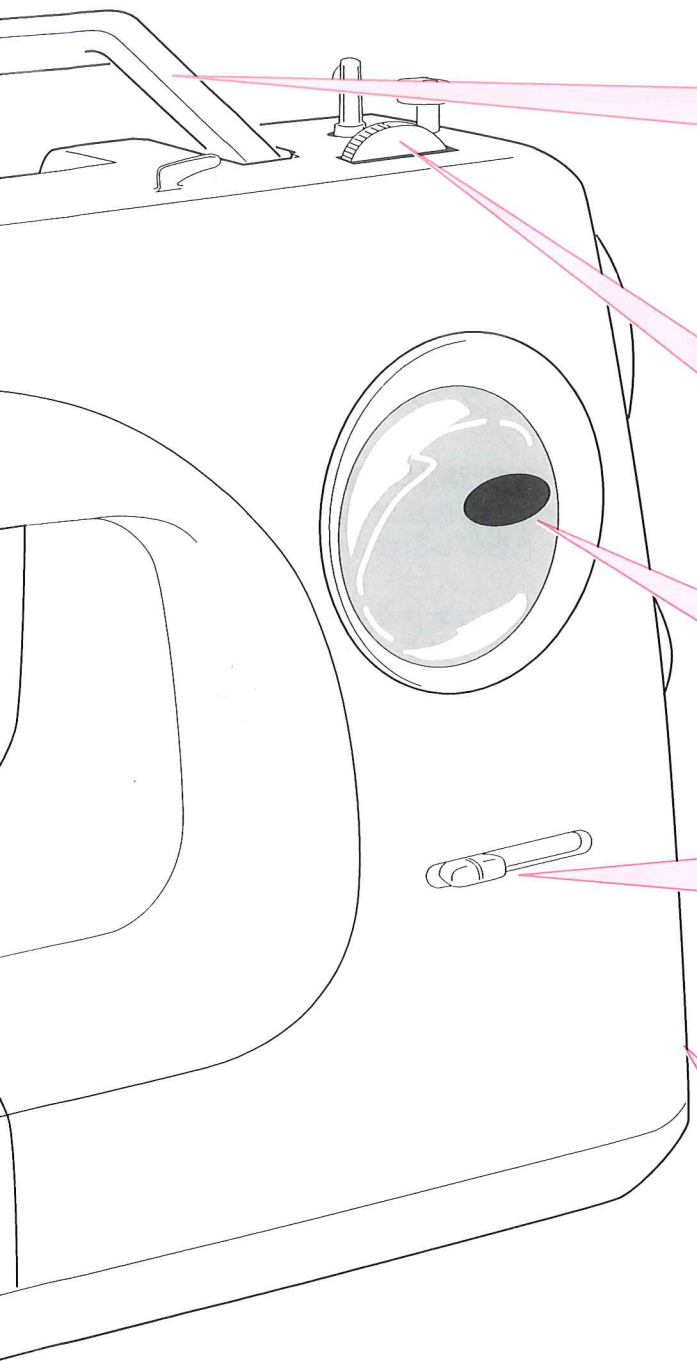
(P8参照)

透明なボビンカバーだから、下糸残量が見えます。取り外しはレバーでワンタッチでできます。

(P14参照)







重さは7kgだから、持ち運びが便利です。

送り調節ダイヤルつきだから、縫い目の長さは0から4mmまで調節することができます。

(P8参照)

模様表示窓つきだから、模様選択ダイヤルを回すと、選んだ模様が表示されます。

(P10参照)

スピード調節つきだから、好みのスピードで縫えます。

(P8参照)

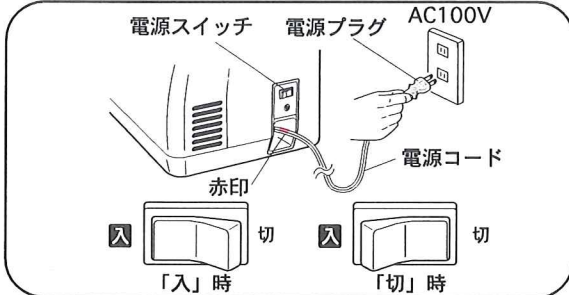
コードリールだから、電源コードがラクに収納できます。  
(2D・S型を除く)

## 2.電源コードのつなぎかた

### ⚠ 注意

- ❗ 電源プラグを差込む時は電源スイッチを「切」にしてください。ケガの原因になります。
- ⊘ 電源プラグを抜く時は電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷み、感電・火災・ケガの原因になります。
- ⊘ 電源コードは赤印以上引き出さないでください。電源コードが傷み、感電・火災・ケガの原因になります。(2D・S型を除く)
- ⊘ 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因になります。

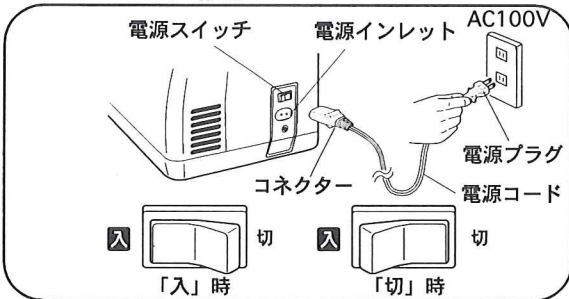
### ■2D・H型、2D・L型、2D・U型の場合



電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込みます。  
次に電源スイッチを「入」にします。  
電源が入り、ランプが点灯します。

電源コードの収納は、電源プラグを手で持ちコンセントから抜きます。  
電源コードを少し引き、ゆるめると巻きとります。

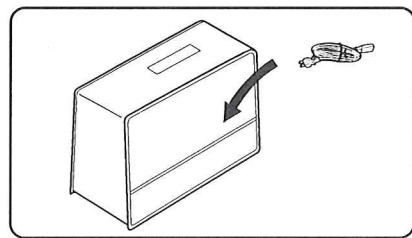
### ■2D・S型の場合



電源コードのコネクターを電源インレットに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。  
次に電源スイッチを「入」にします。  
電源が入り、ランプが点灯します。

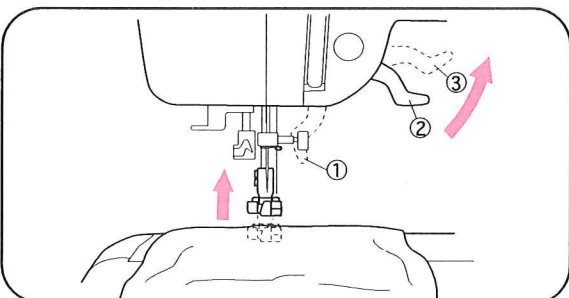
電源コードの収納は、電源プラグを手で持ちコンセントから抜きます。  
次にコネクターを電源インレットから抜きます。  
電源コードをミシンカバーのポケットに収納します。

## 3.はずみ車



はずみ車を回すと、針が上下します。

## 4.押え上げレバー



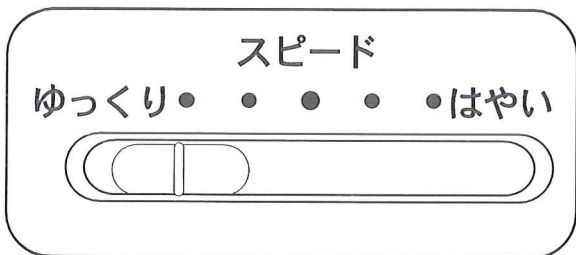
レバーを(②位置まで)上げると押えが上がり、布地を入れレバーを下げます。

厚地の布はレバーを矢印方向に(③位置まで)さらに押し上げたまま布地を入れます。

③位置は手をはなすと②位置にもどりますので、手で押し上げた状態で使用してください。

縫う時は必ず①位置までレバーを下げます。

## 5.スピード調節つまみ



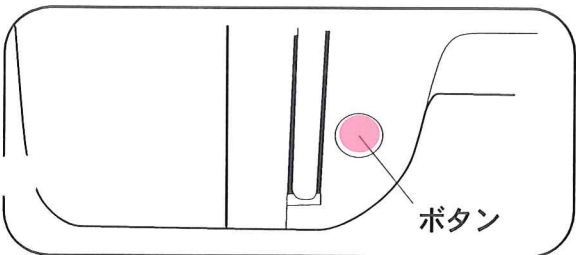
スピードを遅くして使用する場合は、つまみを左方向へ調節します。



スピードを速くして使用する場合は、つまみを右方向へ調節します。

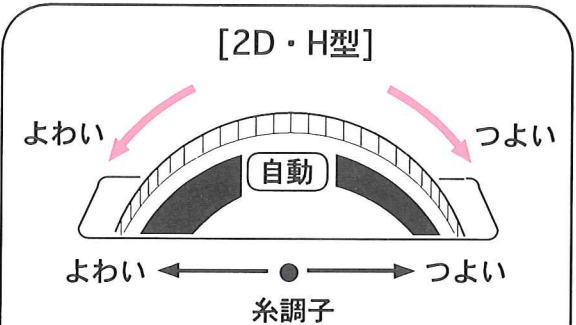


## 6.スタート・ストップボタン



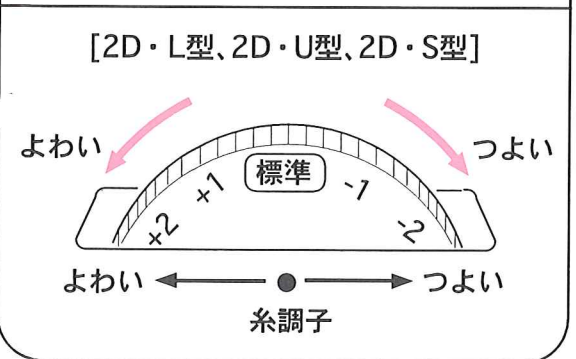
ボタンを押すと、ミシンは動き出します。もう一度押すと止まります。ミシンを停止させると、針は上でとまります。

## 7.上糸調子ダイヤル



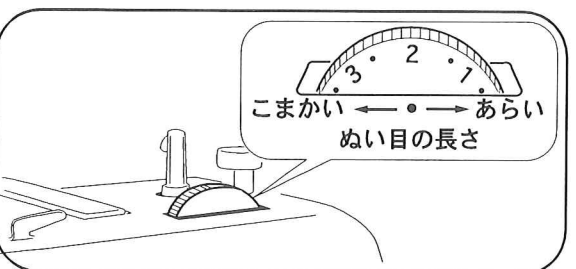
通常は「自動」の位置に合わせて、選択した縫い模様に適した糸調子がとれるようにセットされています。

特に厚い布地、薄い布地を縫う場合は、実際にお使いになる生地の手切れでためし縫いをして調節してください。



「標準」の位置が目安となります。薄い布地は左に回して（マイナス数字が正面になるように）調節します。厚い布地は右に回して（プラス数字が正面になるように）調節します。実際にお使いになる生地の手切れでためし縫いをして調節してください。

## 8.送り調節ダイヤル



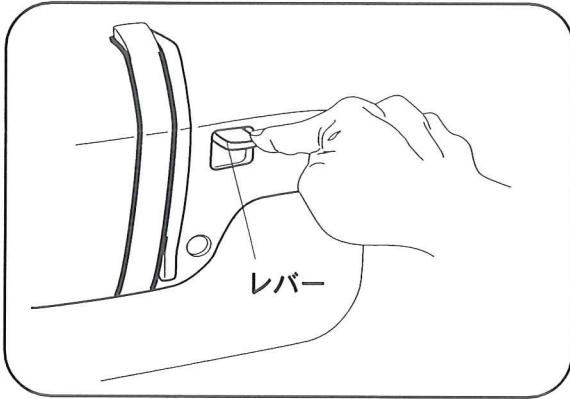
縫い目の長さを調節できます。（図の位置では約2mmになります）

8 9 10

の模様は必ず「4/S」の位置

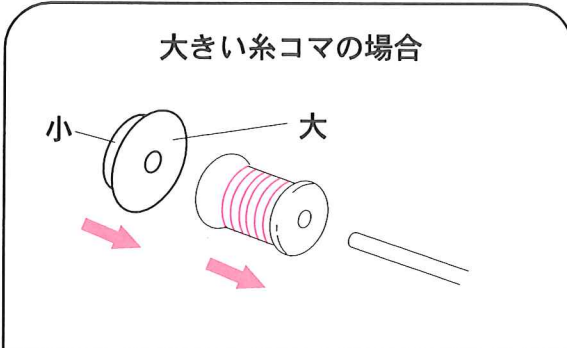
に合わせてください。調節の目安は模様の紹介P12を参照。

## 9.返し縫いレバー

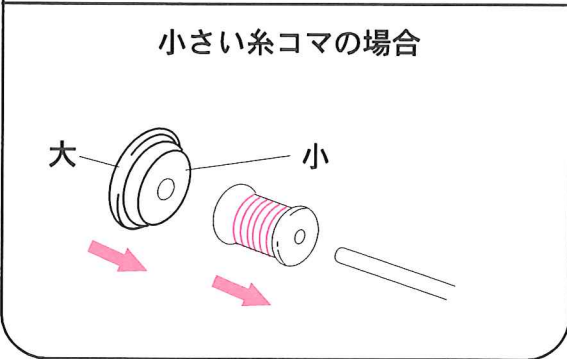


レバーを下げている間は、返し縫いを低速で行います。  
スタート・ストップボタンを押さなくてもレバーを下げるとミシンは動きだします。

## 10.スプールキャップ

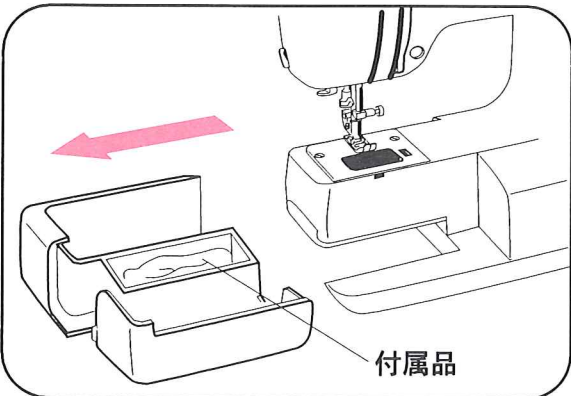


大きい方のキャップから差し込みます。



小さい方のキャップから差し込みます。

## 11.フリーアームにするには



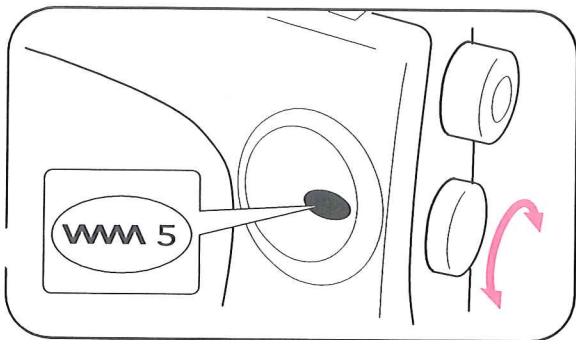
裾、袖口などの筒物縫いのときには図のように補助テーブルを左に引き出してください。

内部に付属品が入っています。

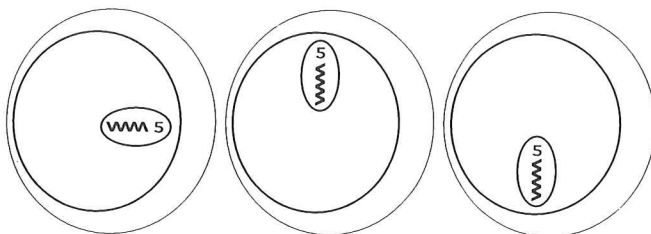
## 12. 模様選択ダイヤル

### ⚠ 注意

- ❗ 模様選択ダイヤルを回すときはミシンを止め、必ず針が布から上にあることを確認してください。針が折れ、ケガの原因になります。
- 🚫 ミシンを運転中は模様選択ダイヤルを回さないで下さい。針が折れ、ケガの原因になります。



模様選択ダイヤルを回して使用する模様番号を表示窓に表示してください。  
型名により表示窓の位置及び形状は異なります。

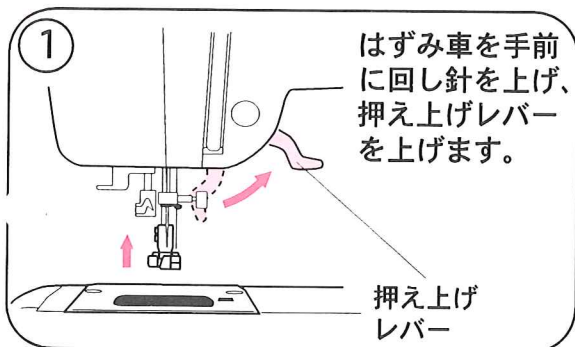


## 13. 押えのとりかえかた

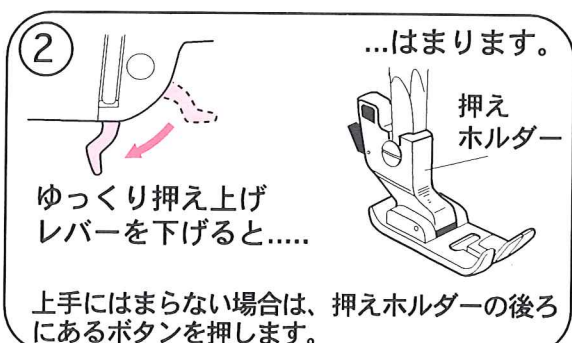
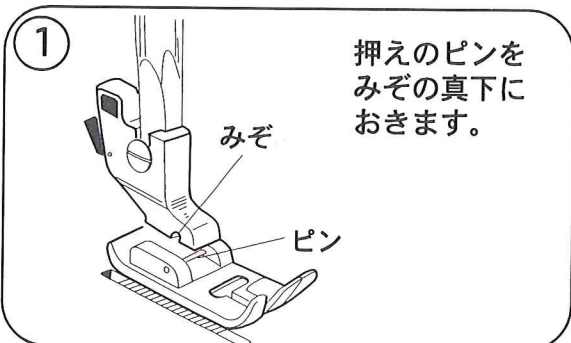
### ⚠ 注意

- ❗ 押えをとりかえるときは、電源スイッチを必ず「切」にしてください。ケガの原因になります。
- 🚫 押えが押えホルダーに確実にセットされていることを確認ください。ケガの原因になります。

### ■ とりはずしかた



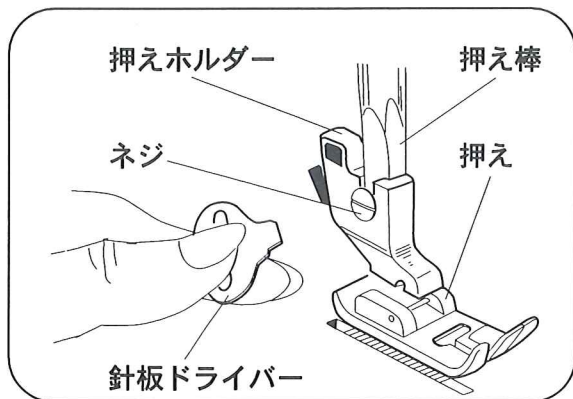
### ■ とりつけかた



## 14. 押えホルダーのとりかえかた

### ⚠ 注意

- ❗ 押えホルダーをとりかえるときは、電源スイッチを必ず「切」にしてください。ケガの原因になります。



別売品の押えを使用するには押えホルダーの交換が必要となります。

押えホルダーをはずす場合は、まず押えをはずします。次に針をはずします。(P10参照)  
図のように針板ドライバーでネジをゆるめて押えホルダーをはずします。

とりつける場合は、押え棒に押えホルダーをセットし、押えホルダーが押え棒にいっぱい入り込んでいることを確認します。  
次に針板ドライバーでネジをしっかりと締めます。

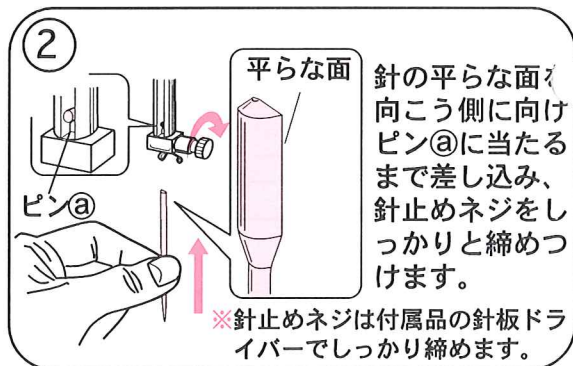
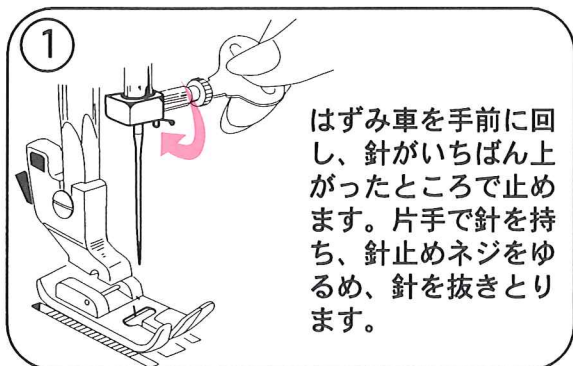
### ⚠ 注意

- ❗ とりつけた時は、ネジのゆるみがなく、確実に押えホルダーが押え棒にとりついていることを確認してください。ケガの原因になります。

## 15. 針のとりかえかた

### ⚠ 注意

- ❗ 針をとりかえるときは、電源スイッチを「切」にしてください。ケガの原因になります。
- ❗ 針止めネジがしっかりと締まっていることを確認してください。ケガの原因になります。
- ❗ 折れた針は危険です。必ず回収してください。ケガの原因になります。



## 正しい針の選び方

※目とび、糸きれが発生した場合は、まず針を替えてみてください。



# 模様の紹介

■模様を縫う前に、押えを確認してください。

## ⚠ 注意

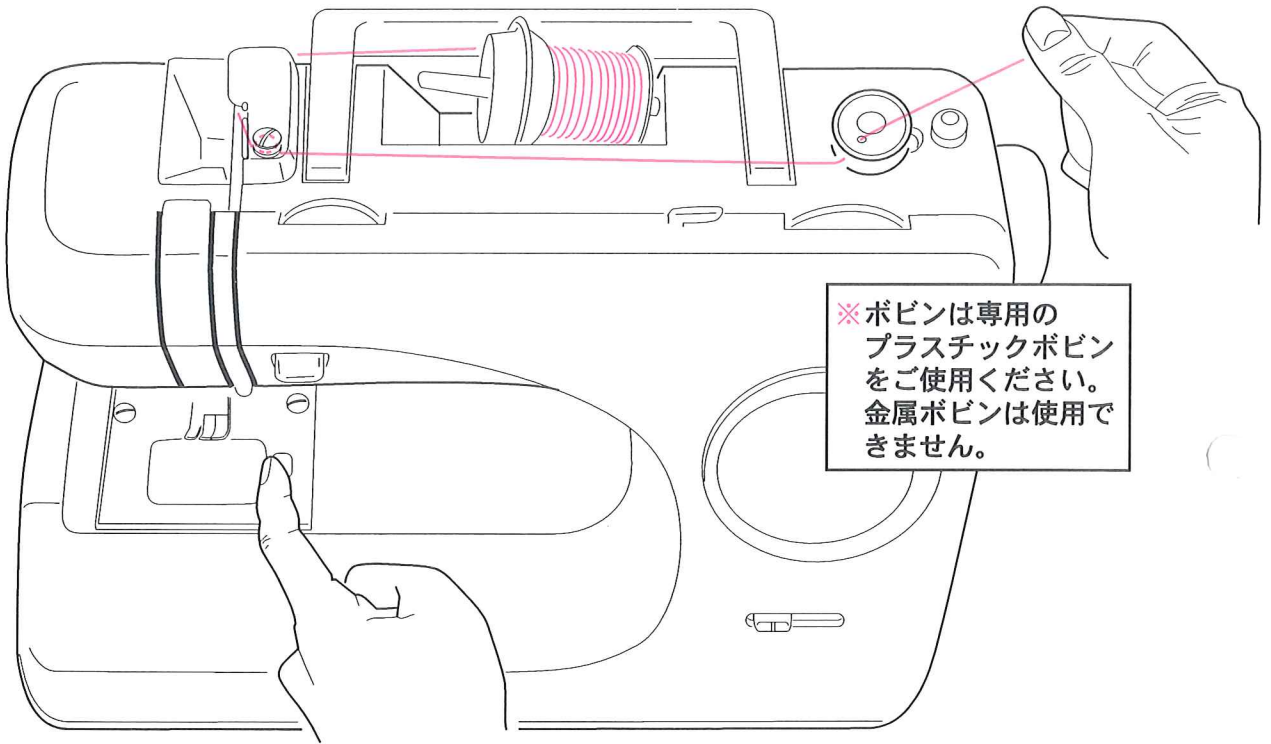
❗ 押えは各模様に適した押えをご使用ください。けがの原因になります。

※ 押え記号ア～クはP2の記号を参照ください。

NO.	A	B	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
模 様															
	ボタンホール		直線縫い		ジグザグ縫い			まつり縫い	三点ジグザグ縫い	直線三重縫い	ジグザグ三重縫い	オーバーロックステッチ			
用 途	ボタンホール	直線縫い	ファスナーつけ	パッチワーク	キルティング	ジグザグ縫い	アップリケ	裁ち目かがり (布端のほつれ止め)	まつり縫い (裾・袖口のまつり)	つくろい縫い	薄地用裁ち目かがり	シャーリング (ゴムテープ・スモッキング)	強化縫い (袖つけ・ズボンの股上)	飾り縫い	厚手・伸縮地用裁ち目かがり
押え記号	イ	ア または カ	ウ	キ または ク	ア または カ	エ	オ	ア	ア	ア または カ	ア または カ	エ			
長 い 目 の 目 安	0.5前後	0.5~4		1.5 ~4	1.5 ~4	0.5 ~4	0.5 ~2	1.5 ~2	1.5 ~3	0.5 ~1	0.5 ~1	0.5 ~1	4/S にあわせませす		
縫 い か た	P23~24	P19 ~20	P25	P33 ~34	P31 ~32	P22	P29	P26	P27	—	P26	P30	P28	—	P26

# 縫う準備をしましょう

## 1. 下糸の巻きかた



① スプールキャップ  
糸コマ  
糸

糸コマを差し込み、スプールキャップをセットします。

※糸コマとスプールキャップの間を、2mmくらいあけます。

② ①の糸案内に糸をかけます。  
"カチッ"と音がするまで手前に引いてください。

下糸案内

②の下糸案内に1回転巻きます。

③

ボビン  
下糸巻き軸

ボビンの穴に内側から糸を入れ、下糸巻き軸に差し込みます。

④

矢印の方向(右)に下糸巻き軸を移動させます。

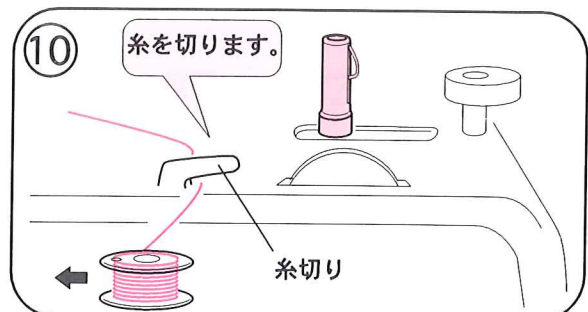
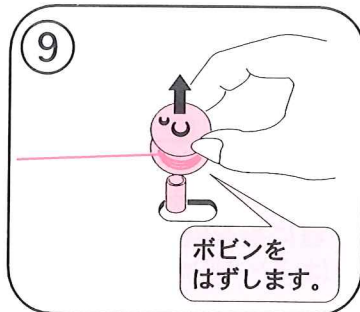
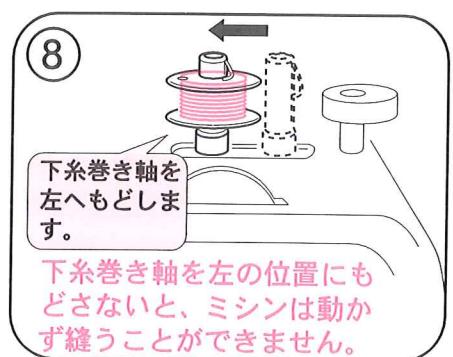
⑤

糸端をもって、スタート・ストップボタンを押します。



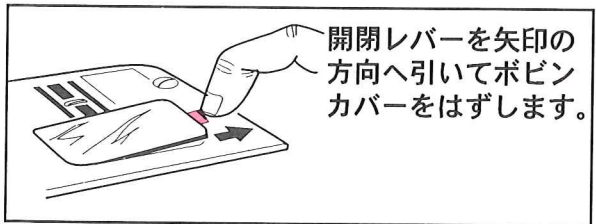


♥ポビンから糸が出ないように糸を切ります。

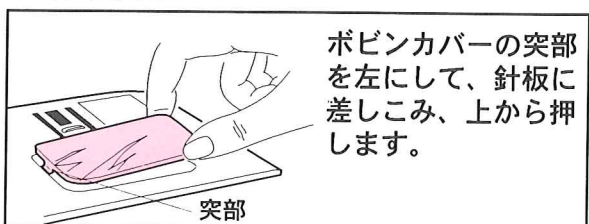


## 2.ポビンカバーのはずしかたと、はめかた

■はずしかた



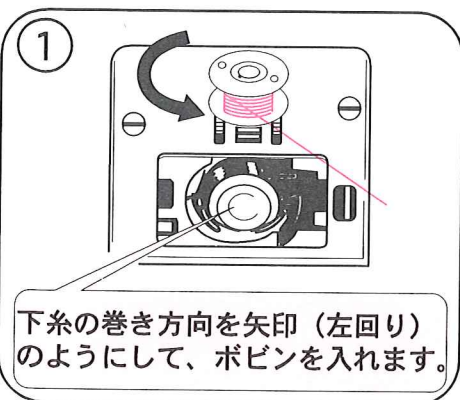
■はめかた



## ポビンのセット

⚠注意

❗ポビンをセットするときは電源スイッチを「切」にしてください。けがの原因になります。

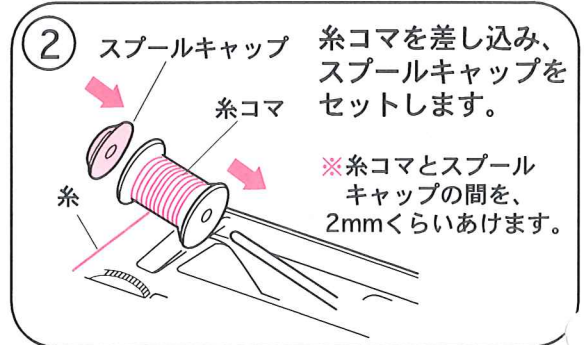
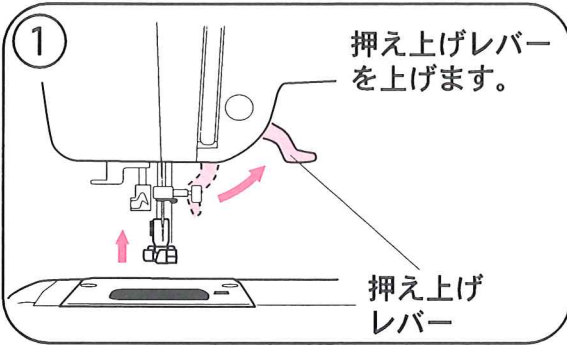


♥①から②へ確実に糸がはいっていないと、正しく縫えません。

## 4.上糸のかけかた

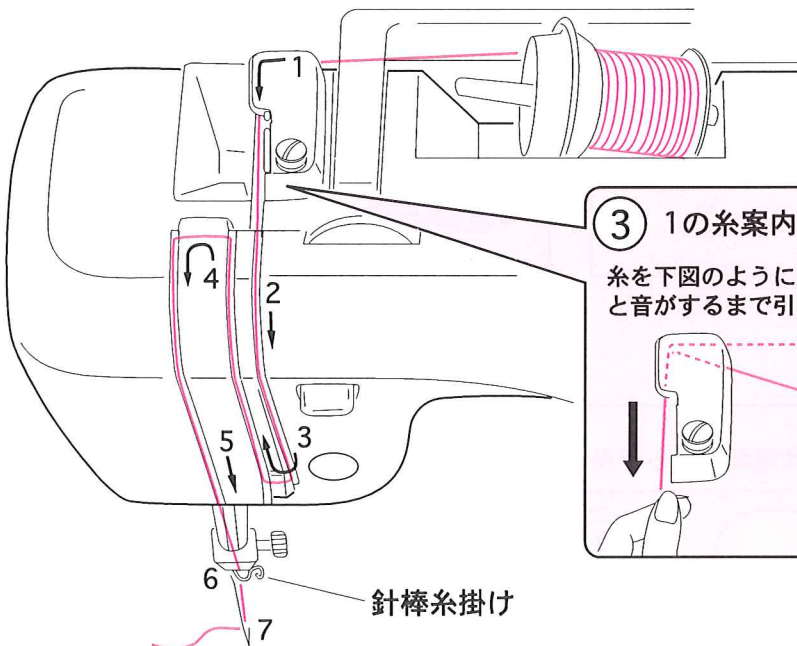
### ⚠ 注意

❗ 上糸をかけるときは必ず、電源スイッチを「切」にしてください。ケガの原因になります。



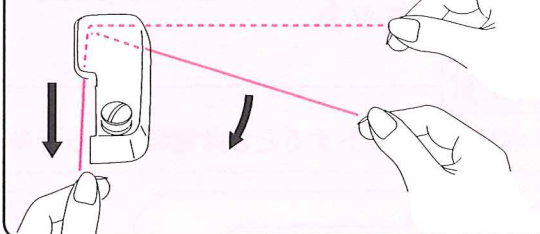
### 糸かけ図

♥ 上糸は正しくかけないと縫えません。糸調子皿に糸を確実にかけるために、押え上げレバーを必ず上げてください。糸のかけかたは③～⑥の順に通します。



### ③ 1の糸案内への糸のかけかた

糸を下図のようにかけ、両手で手前に”カチッ”と音がするまで引いてください。



④

糸調子皿

表示 2↓、3↑、4↓、5↓  
のように糸をかけます。

♥図③の糸案内へ確実に糸をかけた後、糸がゆるまないように2~5までかけます。

⑤

針棒糸掛け

表示6の下の針棒糸掛けに糸をかけます。

糸調子皿に正しく糸かけができたか確認してみましょう。

押え上げレバーを上げ、上糸を手前に引き出す。

→糸がスムーズにでてくる。

次に押え上げレバーを下げ、同様に上糸を手前に引き出す。

→抵抗がありスムーズに糸がでてこなければ正常です。

⑥

針穴

針穴に手前から後ろへ糸を通します。

♥針穴に糸を通すには糸通し器が便利です。  
(P17参照)

## 5.糸通し器の使いかた

### ⚠️ 注意

⚠️ 糸通しをするときは必ず電源スイッチを「切」にしてください。ケガの原因になります。

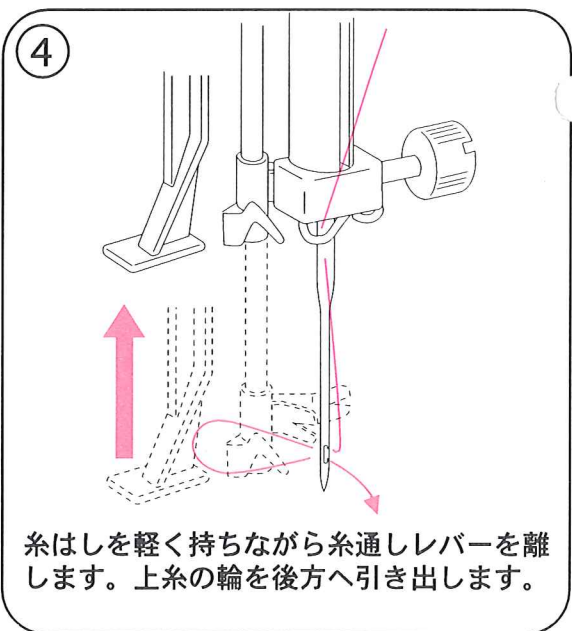
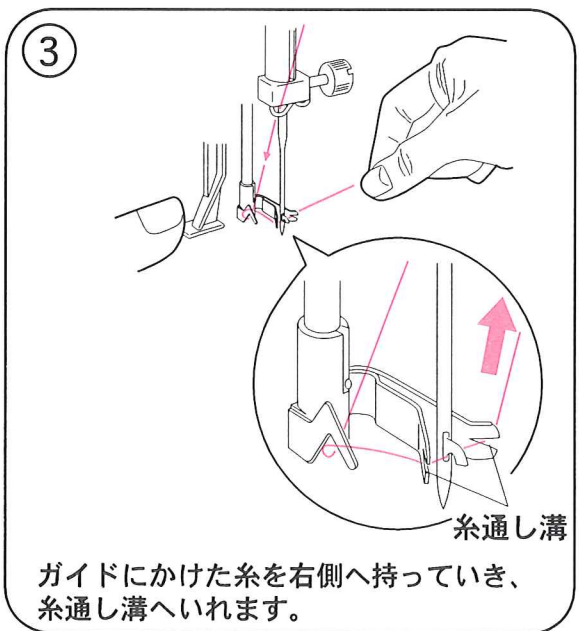
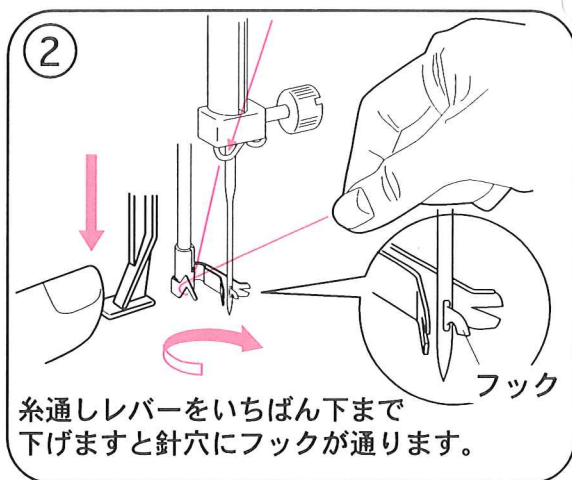
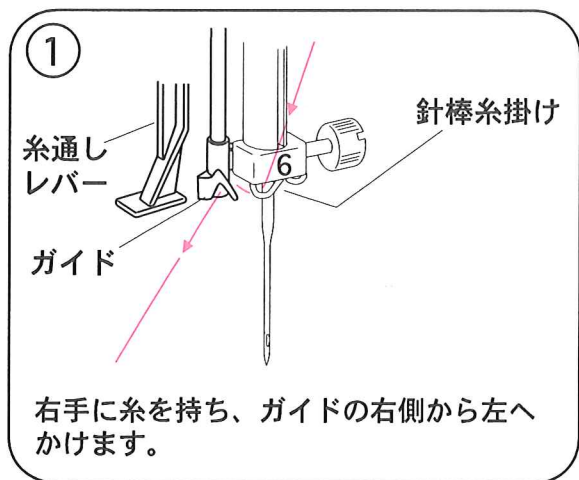
糸通しができる「針と糸の太さの組み合わせ」は下表をごらんください。

針	糸		
75/11番	60番	80番	100番
90/14番	50番	60番	80番
100/16番	50番	60番	

※65/9番の針にはこの糸通し器は使用できません。

### ■糸通し器を使う前に....

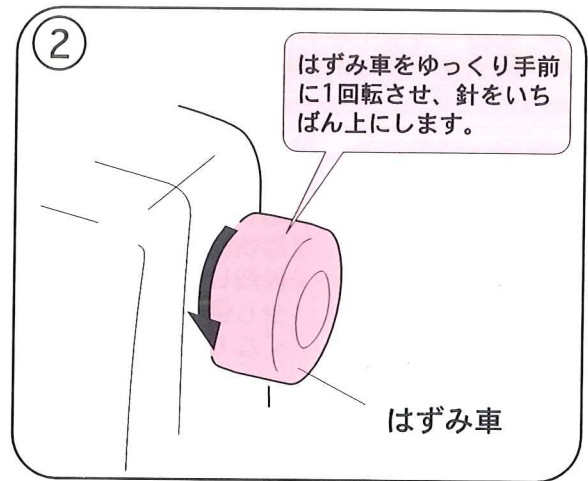
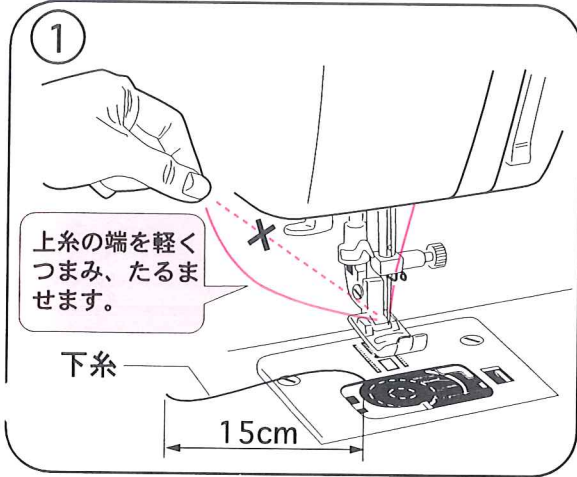
- ♥はずみ車を手前に回し、針をいちばん上に上げます。針がいちばん上ないと通せません。
- ♥針棒糸掛けまで糸を掛け、糸を15cm程引き出しておきます。
- ♥押え上げレバーを下げます。



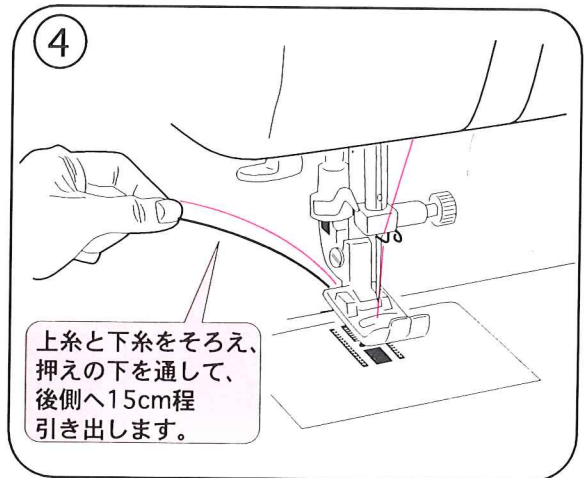
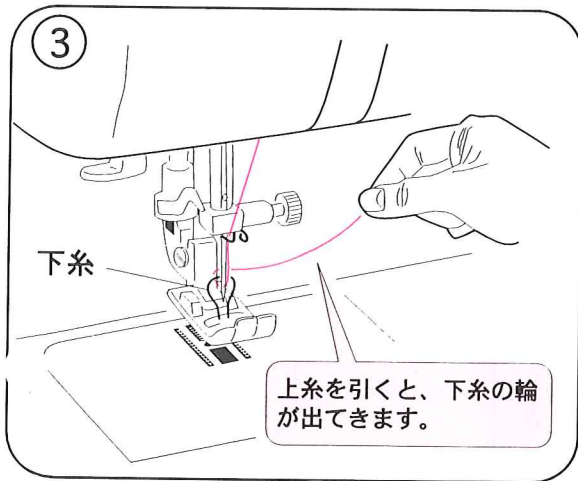
♥針のとりつけが正しくないと糸が通りません。(P11参照)

## 6. 下糸の引き出しかた

■上糸かけをして針穴まで、糸を通しておきます。



- ♥糸を張っていると、下糸が引き出せません。
- ♥ボビンのセットはP14を参照。



- ♥ボビンカバーのはめかたはP14参照。

# 縫ってみましょう ① 基本編

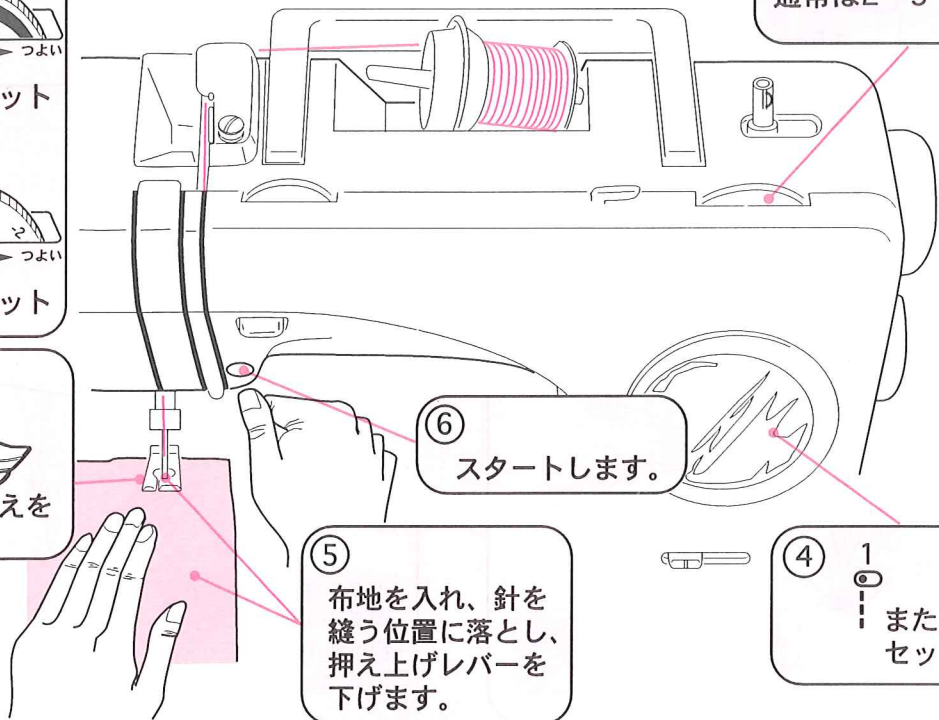
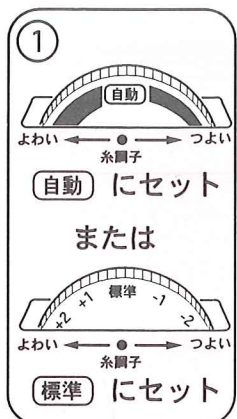
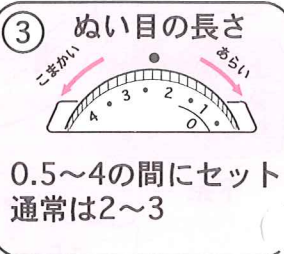
## ⚠ 注意

- 縫っているとき布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。  
針が折れ、ケガの原因になります。
- 使用中、変った音や臭いなどがしたら、ミシンを止め、電源プラグを抜いてください。  
感電・火災・ケガの原因になります。
- 点検・修理の依頼をしてください。連絡先は保証書を参照してください。

### 1. 直線縫い

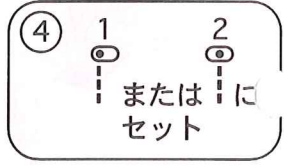


- ミシンを図①～④にセットします。
- ⑤～⑨の順に縫います。
- ♥返し縫いをする場合は、P21参照。
- ♥厚物縫いは「針と糸と布地の関係」P20参照。
- ♥段縫いは、ミシンを止め、押えを上げて布を少し送り込み、再度押えを下げると縫いやすくなります。



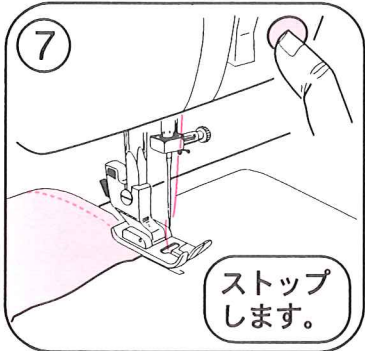
⑥ スタートします。

⑤ 布地を入れ、針を縫う位置に落とし、押え上げレバーを下げます。



手を縫わないように、布地に軽く手を添えます。

縫い終わったら.....



## 針と布地の関係

- ♥ 上糸と下糸は、なるべく同じ種類のものをお使いください。
- ♥ 伸縮性の布地の縫い合わせの時には、ボールポイント針をお使いください。

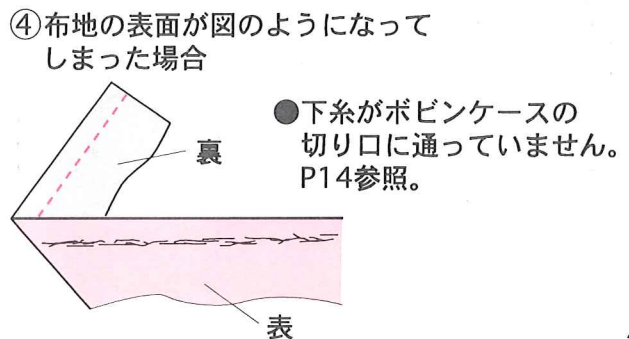
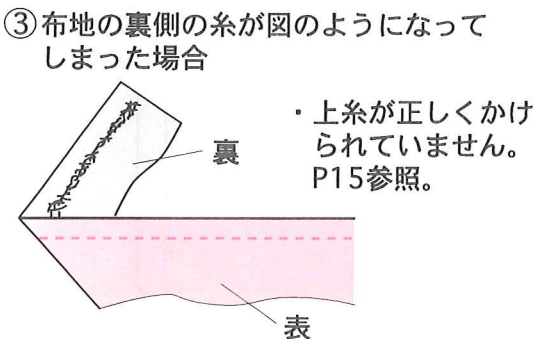
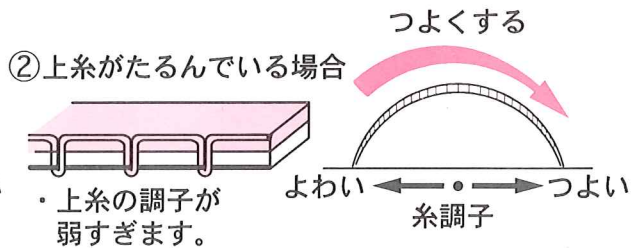
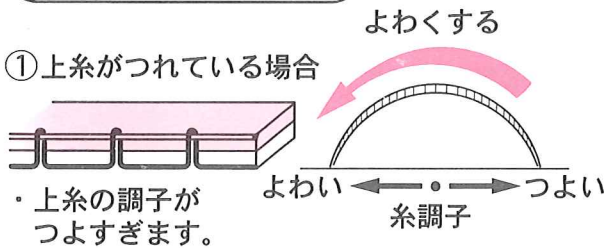
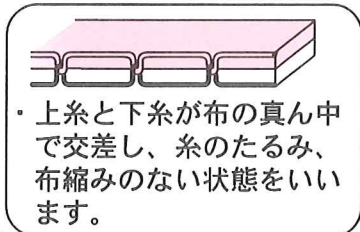
- ♥ 厚地やデニムはデニム針を使用すると縫いやすくなります。
- ♥ 9番の針は、細く弱いため、布や糸を無理にひっぱったりしますと曲がったり、折れたりすることがありますのでご注意ください。
- ※ 付属品にない針は家庭用ミシン針とご指定のうえ、お買い求めください。

■きれいに縫うために下表を参考にして布地に適した針と糸を使用してください。

	布地の種類	針の番号	糸の番号
薄地	オーガンディー、ローン、ジョーゼット、タフタ、絹クレープなど	65/9番 } 75/11番	綿 80~100番 絹 80番 化繊糸 90番
普通地	ギンガム、リンネル、ブロードジャージ、サテン、ポプリン、更紗木綿、綿ギャバジン、一般服地など	75/11番 } 90/14番	綿 60~80番 絹 50~80番 化繊糸 50~60番
厚地	ツイード、デニム、カーテン地、コーデュロイ、オーバーコート地など	100/16番	綿 40~50番 絹 50番 化繊糸 30~50番

## 正しい糸調子とは....

- 上糸調子ダイヤルを自動または標準にセットしても糸調子が合わない場合は....

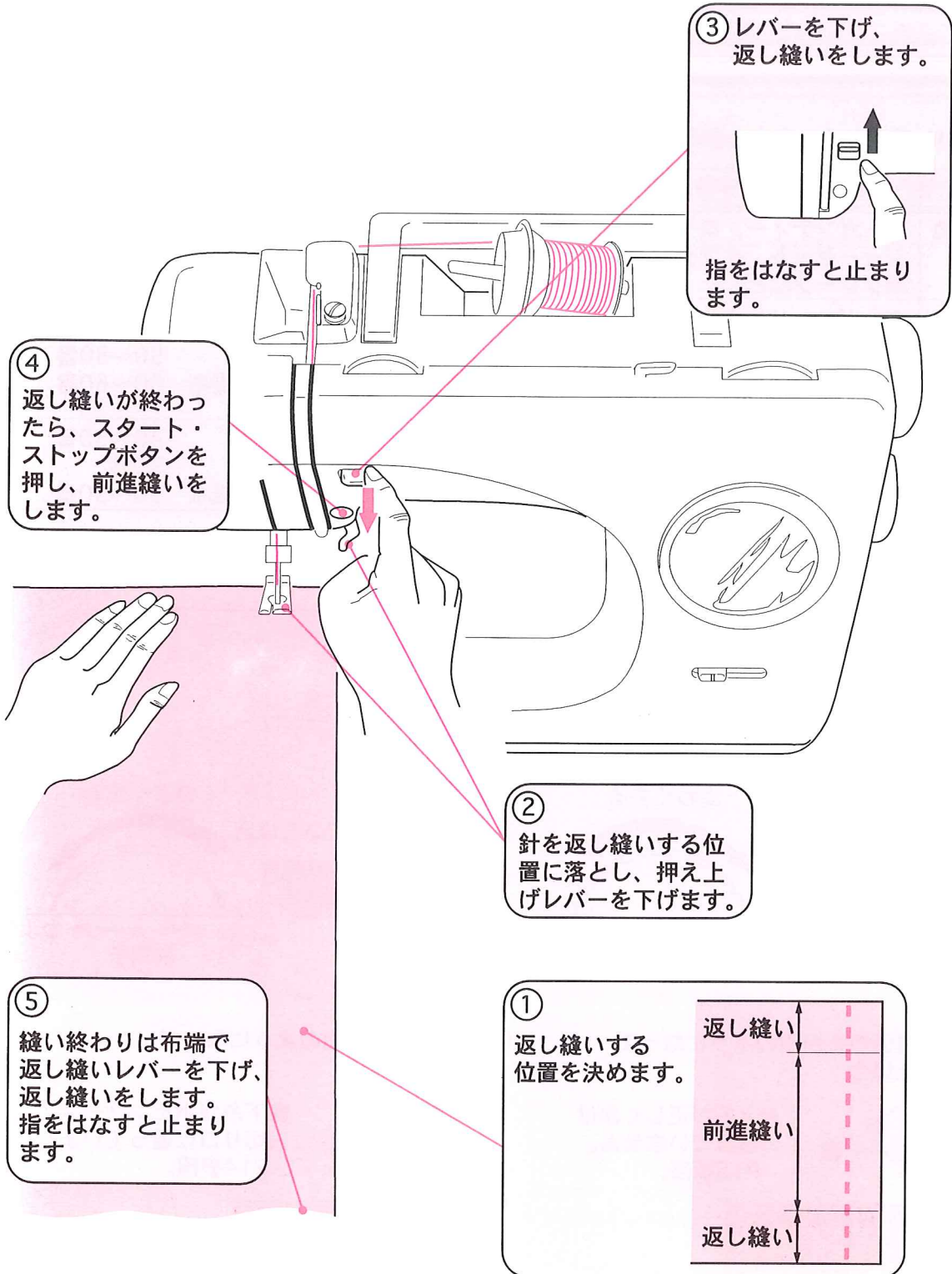


## 2. 返し縫い



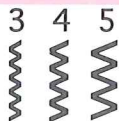
■①～⑤の順に操作し縫います。

- ♥ 返し縫いレバーを下げている間だけ返し縫いができます。
- ♥ 返し縫いレバーをはなすとミシンは止まります。
- ♥ 返し縫いの間は、縫い速度はゆっくりになっています。





### 3.ジグザグ縫い

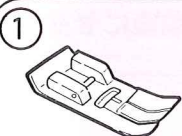


振り幅 (mm) 1 2.5 4  
ぬい目長さ 0.5 2.5 2  
の目安

- ミシンを①～③にセットします。
- 縫いかたは、P19「直線縫い」の⑤～⑨と同じ要領で縫います。
- ♥上糸を少し弱くして下糸が布上に出ないようにすると、きれいに仕上がります。

#### ⚠ 注意

❗ 押えをとりかえるときは必ず電源スイッチを「切」にしてください。ケガの原因になります。

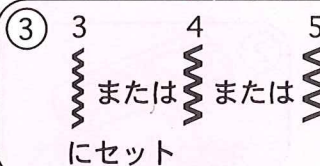


ジグザグ押え

#### ② ぬい目の長さ

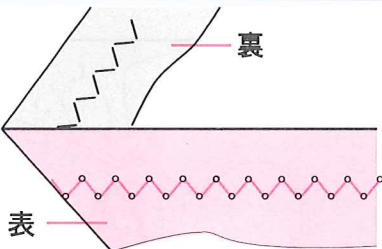


0.5～2の間にセット

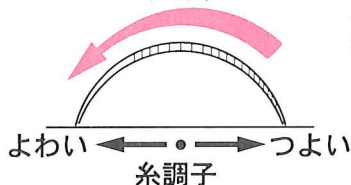


糸調子が合わないときは....

■上糸がつれて  
いる場合

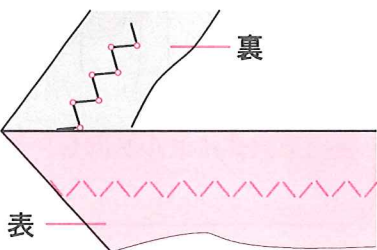


よわくする

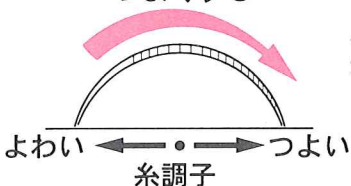


上糸調子ダイヤルを  
矢印の方向に回して  
ください。

■上糸がたるん  
でいる場合



つよくする



上糸調子ダイヤルを  
矢印の方向に回して  
ください。

# 縫ってみましょう ② 応用編

## ⚠️ 注意

- 縫っているとき布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。針が折れ、ケガの原因になります。
- 使用中、変った音や臭いなどがしたら、ミシンを止め、電源プラグを抜いてください。感電・火災・ケガの原因になります。
- 点検・修理の依頼をしてください。連絡先は保証書を参照してください。

### 1. ボタンホール



- 図①のようにボタンホールの長さを決めます。長さはボタン直径+ボタン厚さ+3mmが目安です。
- ミシンを図②～⑤にセットします。
- ⑥～⑩の順番に縫います。
- ※布地によってはボタンホールの左右の縫い目差が生じます。ためし縫いをしてください。

③ ぬい目の長さ

0.5前後にセット

①

ボタンホールの長さ

3mm ボタンの直径+厚み

ボタンホールの長さを決め

縫い始め

布地にしるしをつけます。

⑤ 押えのいちばん手前の目盛線 aと指示線 bを合わせ、布地の縫い始めのしるし位置に押えを下げます。

⑥ スタートします。

②

ボタンホール押え

④

A にセット

♥目盛線が左側になるようにセットします。

⑦

右側を縫っていき、布地のしるしに合わせてストップします。

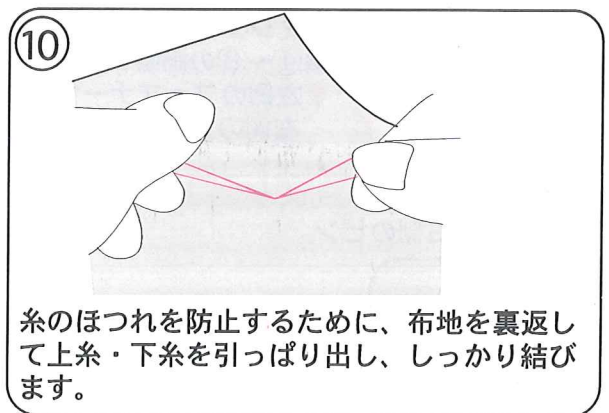
⑧

模様選択ダイヤルを回し、Bにセットします。




再度スタートします。左側を縫っていき、縫い始めの位置まで縫ったら、ストップします。



- ♥ 押えの赤い目盛を目安にボタンホール長さを決めておくと便利です。
- ♥ 特に、伸縮地・薄地の場合は、芯地（不織布など）を貼り補強して縫います。



糸のほつれを防止するために、布地を裏返して上糸・下糸を引っ張り出し、しっかり結びます。

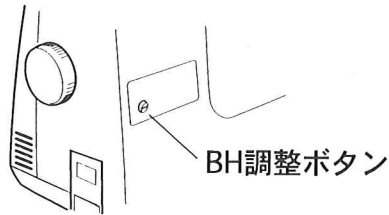
### ボタンホールを失敗したとき

失敗した位置に関係なく、縫った糸を全部ほどいて、最初から縫い直します。ただし、A(  )の位置の途中で失敗した場合は、必ず次の操作を行ってください。(省略すると次にボタンホールを縫うことができません。)

1. 針から糸をはずし、B(  )の模様を選択し、10針程ミシンを回転させます。
2. 再びA(  )の模様を選択し、針に糸を通し、ボタンホールを最初から縫います。

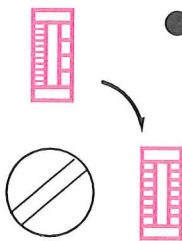
### 左右の縫い目差を調節する場合

布の種類によってボタンホールの左右縫い目差がでます。この場合ミシンの背面にあるBH調整ボタンを調整することにより目差をなくすことができます。



♥ BH調整ボタンは10円硬貨で回すと便利です。

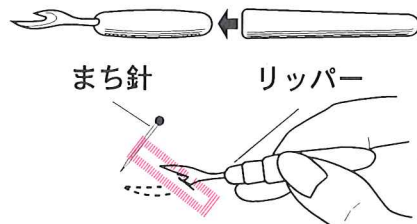
ボタンホールの右の縫い目が左にくらべて粗い場合、BH調整ボタンを右へ回してください。



● ボタンホールの左側が右にくらべて粗い場合、BH調整ボタンを左へ回してください。



- ボタンホールのカット  
付属品のリッパーを使い、縫い目を切らないように中央を切り開きます。
- ♥ まち針をかんぬき止め部に刺しておくと、切りすぎがありません。



### ⚠ 注意

- ⊘ リッパーで切り込みをするとき、リッパーの前で布を持たないでください。手にケガをする原因になります。

## 2.ファスナーつけ

2  
○  
|  
-

■ミシンを図①～③にセットします。

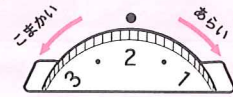
■④～⑧の順番に縫います。

♥左側のファスナーつけをする場合、ファスナー押えは、右側のピンにはめ込みます。

左側のピン  
右側のピン

①  
ファスナー押えの右側のピンにセット

② ぬい目の長さ



1.5～3に  
セット

⑥  
押え上げレバーを下げ、スタートします。

⑤  
スライダが、押えの右側へくるように布を置きます。

③ 2  
○  
|  
-  
にセット

④  
ファスナーと布をセットします。  
スライダー

⑦

- ・押えがスライダにあたる手前で、ミシンを止めます。
- ・はずみ車を手前に回して針を布に落とし、押え上げレバーを上げます。
- ・スライダを押えの後ろ側に移動させて、押えを下げ残りを縫います。

⑧

- ・押えを左側のピンにセットしなおします。
- ・④～⑦と同じ要領で右側を縫います。

♥左側と同方向に縫うと縫いズレを防ぎます。

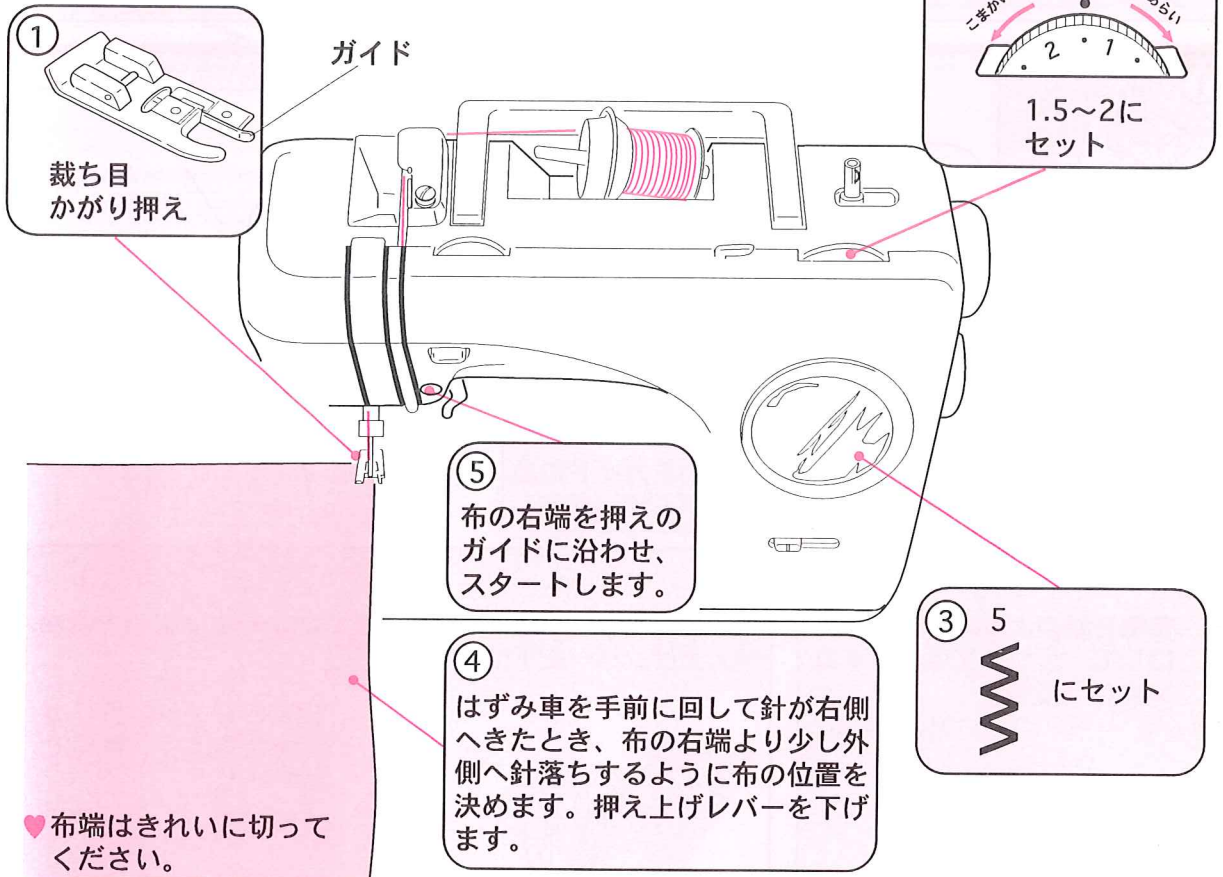
### 3. 裁ち目かがり



■ミシンを図①～③セットします。

■④～⑤の順番に縫います。

♥薄地、厚地・伸縮地の裁ち目かがりについては、下の表をごらんください。



♥布端はきれいに切ってください。

### ■薄地、厚地・伸縮地の裁ち目かがり

	模様	ぬい目の長さ	押え	針	縫いかた
薄地	7 	1	 ジグザグ押え	ポールポイント針 (伸縮地) 普通針75/11番	♥上記した④～⑤の順番で縫います。
厚地	10 	4	 裁ち目かがり押え	ポールポイント針 (伸縮地) 普通針90/14～ 100/16番	

### ⚠注意

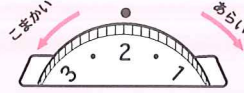
❗押えは各模様に適した押えをご使用ください。ケガの原因になります。

4.まつり縫い



- ミシンを図①～③にセットします。
- ④～⑥の順番に縫います。

② ぬい目の長さ

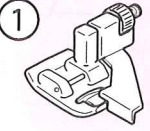


1.5～3に  
セット

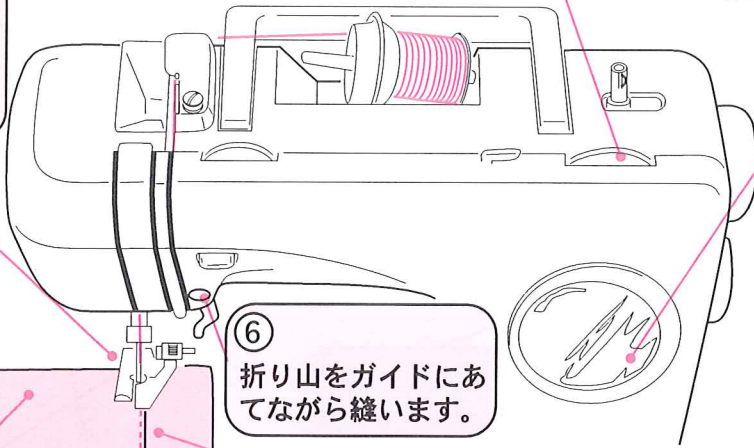
③ 6



にセット



まつり縫い押え



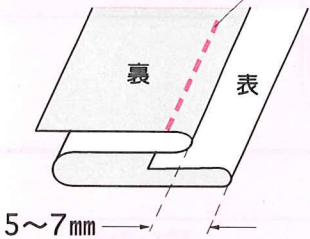
⑥

折り山をガイドにあてながら縫います。

④

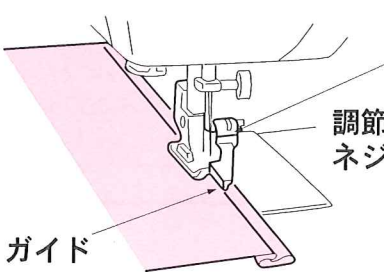
布端を図のように、3つ折りにして、しつけ又は、アイロンをかけます。

しつけをする



⑤

針が左側にきたとき、折り山に少しかかるように布を置き、押え上げレバーを下げます。



押えのガイドが折り山にあたるよう、ネジで調節します

正しい縫い目とは....

こんなときは....

裏 表

・しつけをはずし布をひろげます。

■針が折り山にかかりすぎた場合

裏 表

・表側にでる縫い目が大きくなります。

■針が折り山にかからない場合

裏 表

・まつり縫いができていません。

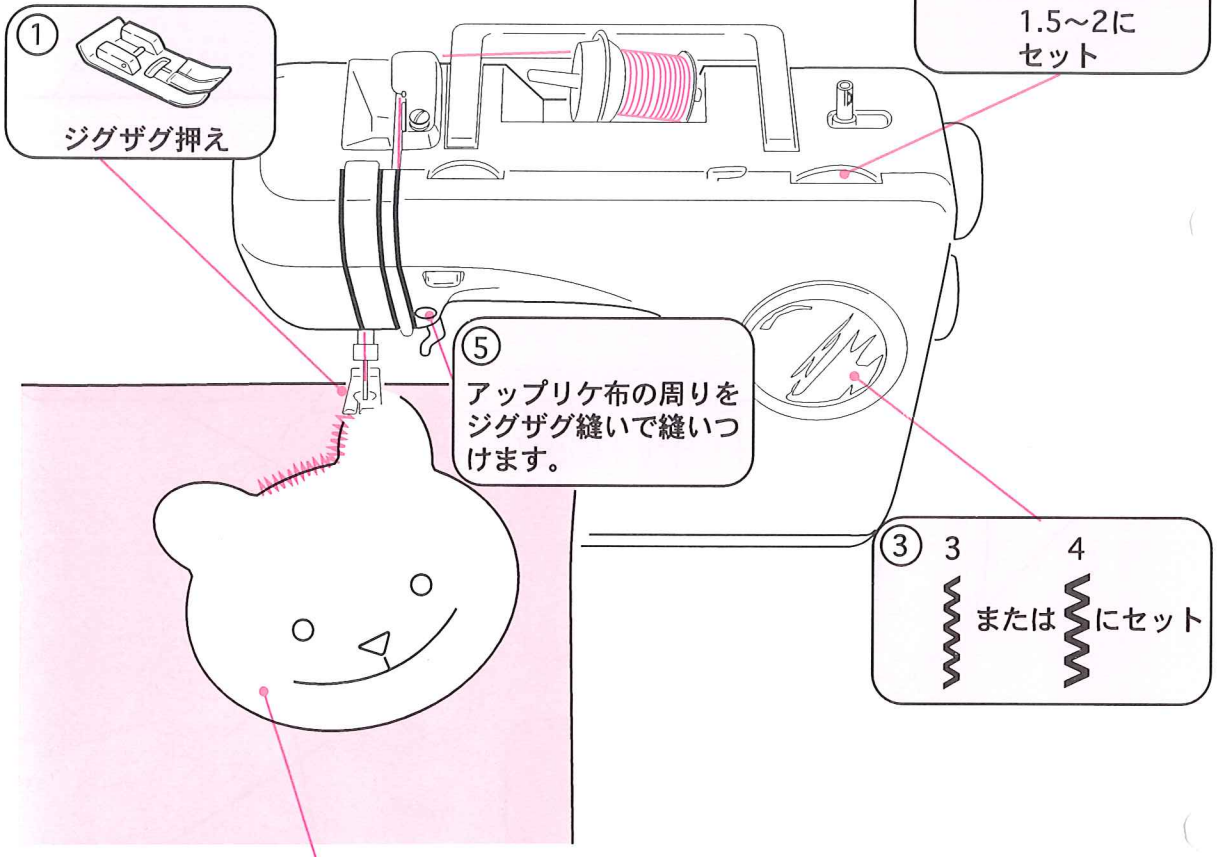


## 6. アププリケ

3  
~~~~~

4  
~~~~~

- アププリケ用の布を好みの図案に切り、別の布の上に縫いつけます。
- ミシンを図①~④にセットします。
- ⑤のように縫います。



- ♥ジグザグ縫いの大きさ（3または4）は図案の形、大きさ、材質に応じて選びます。
- ♥アププリケ布は布地からずれないように、しつけまたは布用ボンドで軽く止めておきます。
- ♥縫い方向を変える場合は、アププリケ布の外側に針を落とし、押えを上げてから布を回します。

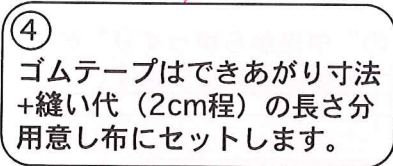
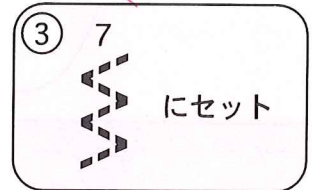
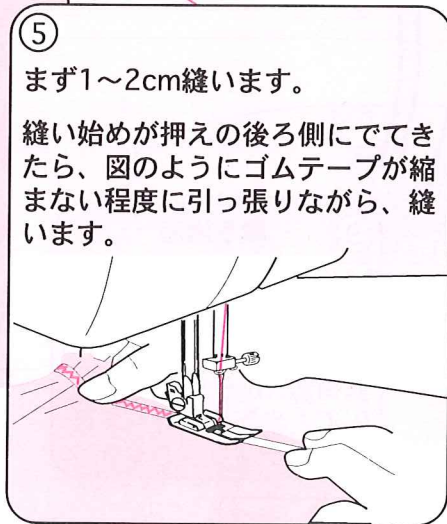
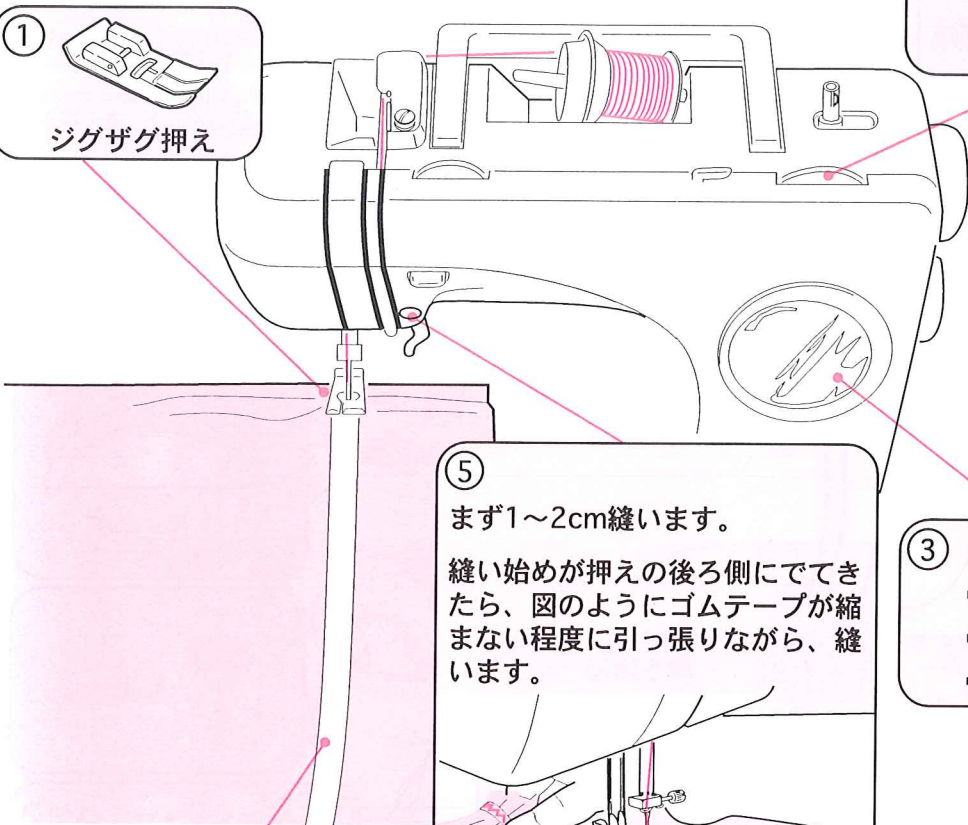
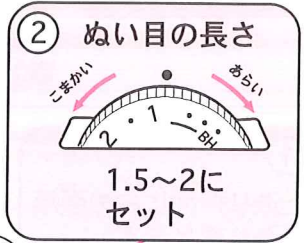
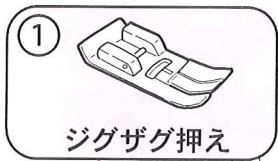


## 7. シャーリング

7



- シャーリング用ゴムテープ（専用）をのぼしながら縫ってシャーリングをします。
- 袖口、ウエストまたは、スモッキングなど、デザインとして使います。
- ミシンを図①～③にセットします。
- ④～⑤の順番に縫います。



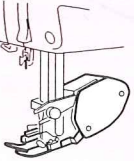
## 8.キルティング (直線)

2  
●  
|

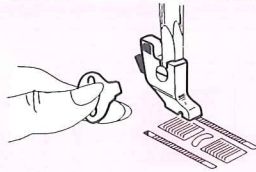
- 上送り押え (別売品) に取り替えます。
- 布と布の間にキルト綿や芯を入れて、直線縫いで縫います。凹凸の質感をだす効果があります。
- ♥表布・キルト綿や芯・裏布がずれることなくきれいに縫えます。
- ♥キルティングガイドを使うと、縫い目を平行に縫うことができます。
- ミシンを図①～⑦にセットします。
- ⑧～⑨の順番で縫います。

①

上送り押えに右の手順で取り替えます。

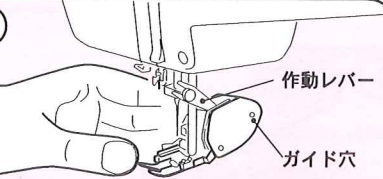


②



P11の押えホルダーのとりかえかたに従い押えホルダーをはずします。

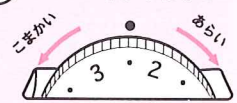
③



作動レバーのふたまた部を針止めネジにはさみ、押えを下げ、針止めネジを締めます。

※針止めネジはしっかり締めておきます。

④ ぬい目の長さ



1.5～4にセット

⑤ 2



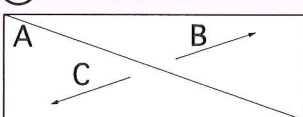
にセット

⑥ ゆっくり……はやい



スピードは遅くします。

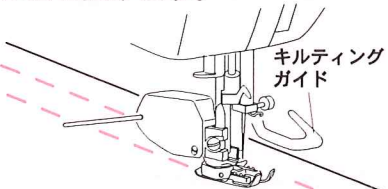
⑨ 縫う順序



対角線Aから縫っていきB～Cと半面ずつ外へ向けてキルティングします。

⑦

キルティングガイドをガイド穴に差し込みます。



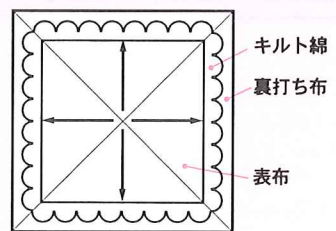
縫い目の間隔は、キルティングガイドを左右に動かして調節します。

⚠ 注意

❗ 縫うスピードはスピード表示の”中央からゆっくり”の表示範囲でご使用ください。ケガの原因になります。

⑧ 布の準備

表布 (トップ) ・キルト綿・裏打ち布を重ね、3枚がずれないようにしつけをします。しつけは中心から外へかけます。



9.キルティング (曲線)

2  
●  
|  
|

- ダーニング押え (別売品) に取り替えます。
- 布と布の間にキルト綿や芯を入れて、直線縫いで縫います。
- ♥針といっしょに押えが上下するので図案をたどって、キルティング模様に合わせて布を送ることができます。
- ミシンを図①～⑦にセットします。
- ⑧～⑨の順番で縫います。

① ダーニング押えを右の手順で取り替えます。

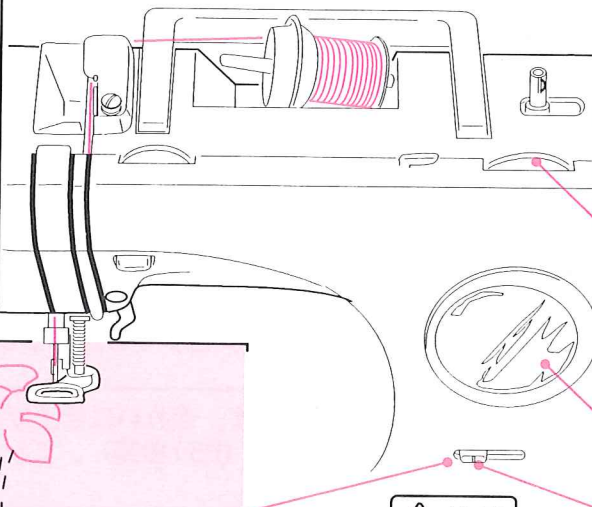
② P11の押えホルダーのとりかえかたに従い押えホルダーをはずします。

③ 作動ピンを針止めネジの上に置き押えを下げ、押え止めネジを締めます。

④ 刺しゅう用補助板 (別売品) をとりつけます。

補助板の裏にあるピンが針板の穴に入るようにはめこみます。

※針止めネジはしっかり締めておきます。



⑤ ぬい目の長さ

こまかい あらい

0にセット

⑥ 2 にセット

⑦ ゆっくり..... はやい

スピードは遅くします。

⚠️ 注意

縫うスピードはスピード表示の中央からゆっくりの表示範囲でご使用ください。ケガの原因になります。

⑧ 布にあらかじめ図案を写しておきます。

図案

布 (表)

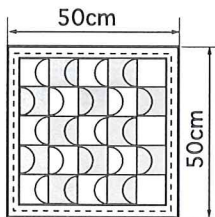
チャコペーパー (底)

⑨ 中心より一筆書きのように縫います。

## 10.パッチワーク



- 大小色とりどりの布をつなぎあわせて模様をつくり出すことをパッチ（つぎはぎ）ワークと言います。作品例として、パッチワークの組み合わせが異なる2枚のクッションをつくってみましょう。本書では簡略化して説明させていただきます。
- 準備するものは、下表を参照ください。



〈作品例〉

### 布と用具

#### 表 布

- コットンの花柄、小紋、更紗、チェック、縞、無地など異なる2つの布地を用意します。
- ♥布地はあらかじめ水に浸し、陰干しをして、半乾きの状態でアイロンをかけます。アイロンは布地のたて、よこの縞目が真っ直ぐになるようにしてかけます。
- ♥伸びやすい、目がつんだ厚地、透ける薄地、しわのよりやすい布地はさけます。

#### キルト綿

キルト綿はポリエステル綿が多く使われます。

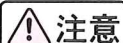
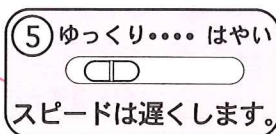
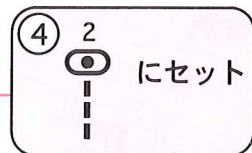
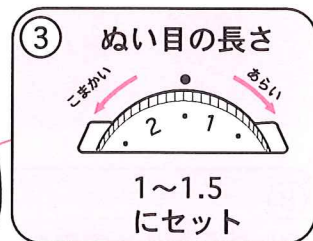
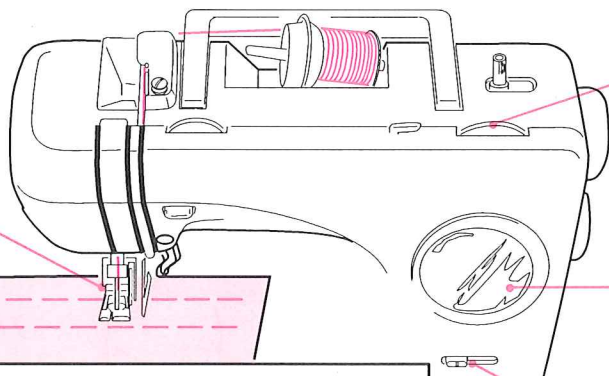
#### 裏 布

表布と合わせた無地のもので、伸びにくく、しわがよりにくいすべりの少ないコットン地を使います。

#### 用 具

- 定 規 : 透明で見やすい数字入りのものが便利です。
- ロータリーカッター: カッターボードの上に布地を重ねて、カッターの刃を回転させながら切っていきます。
- カッターボード : 布地をカットする時の下敷きに使います。
- は さ み : 裁ちばさみ、糸切りばさみ、型紙用ばさみなどが必要です。
- チャコペン : 図案、合いしるしをつける時使います。消さなくても良い部分にはB4のエンピツでも良いでしょう。

- 1.P34図①のように表布（パッチワーク）を準備します。きれいに仕上げるために正確に裁断します
- 2.図②のように上送り押え（別売品）に取り替えます（P31参照）。ミシンを図③～⑤にセットします。
- 3.P34図⑥のようにストリップピーシング（帯状に細長くカットした布地をつなぎ合わせる）をします。



縫うスピードはスピード表示の中央からゆっくりの表示範囲でご使用ください。ケガの原因になります。

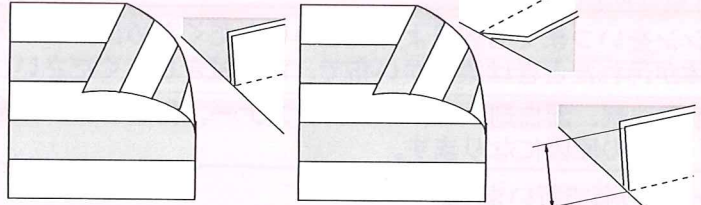
- ① AとBの布地を各々5枚準備します。



同じ大きさに切り揃えます。  
布端はきれいに切り揃えます。

- ⑥ ストリップピーシングをします。

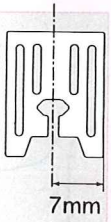
①ABABAの順に並 ②BABABの順に並 図⑦を参照  
べて縫い合わせます。べて縫い合わせます。して縫います。



①と②の2枚をつくります。

7mm  
(縫いしろ)

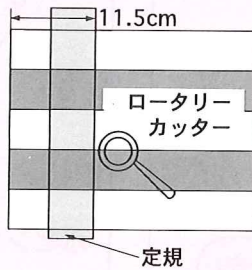
- ③ AB2枚の布を中表にあわせ  
ます。布端から7mmのところ  
を真っ直ぐに縫います。



押えの右端と  
布端を合わせ  
ます。

4. 布地を図⑧のように裁断します。図⑨のように縫いあわせ  
ます。

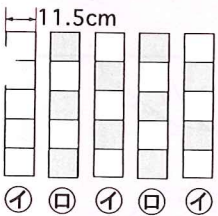
- ⑧ ①②とも同じように縫い合わせ幅を揃  
えてカットします。



縫い代はアイロンで濃い色  
の側へ倒します。

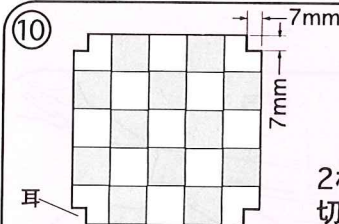
定規でしっかり布地を押え  
ロータリーカッターで切ると便利  
です。

- ⑨ カットした①②を交互に並べ図⑦を参照  
し縫います。



♥ つぎあわせの位置は  
待ち針で止めておく  
と、ずれずにきれい  
につぎあわせができ  
ます。  
②①②①②のものが  
もう1枚できます。

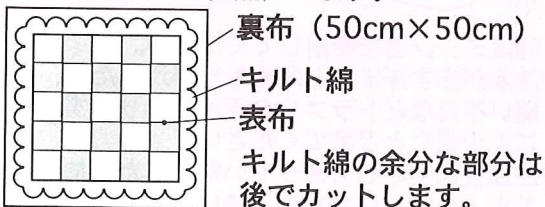
5. パッチワークした布端の耳(4ヶ所)を切り  
落とします。



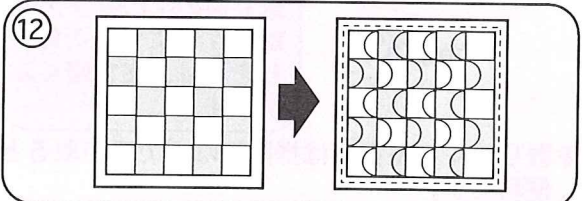
2枚とも  
切り落とします。

6. 図⑪のようにキルティングします(2組)。

- ⑪ パッチワークした布を表布にしてキルテ  
ィング(P31参照)します。



7. カットした2組のキルティング図⑫を各々  
表になるように周囲を縫い合わせます。  
♥ バイアステープでまわりをくるむように  
縫い合わせるときれいに仕上がります。



# ミシンのお手入れ

## 1. 送り歯とかまのお手入れ



注意

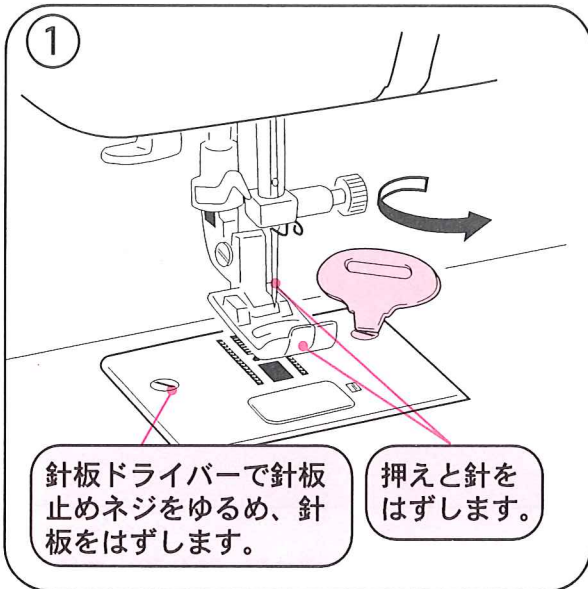
⚠️ ミシンのお手入れをするときは、電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。ケガの原因になります。

- ♥ ミシンをいつまでも調子よくお使いいただくために、お手入れを月1回おこなってください。
- ♥ 本体が汚れたときは柔らかい布で、から拭きしてください。

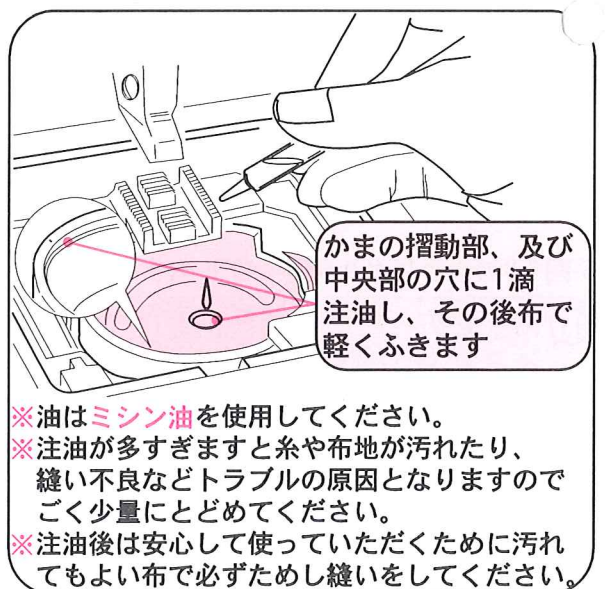
住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、化学ぞうきんを使用しないでください。変色したり、割れの原因になります。

■ ①～③の順で行います。

♥ ボビンケースやかまに糸がからんだときも、次の順序でボビンケースをとりはずします。

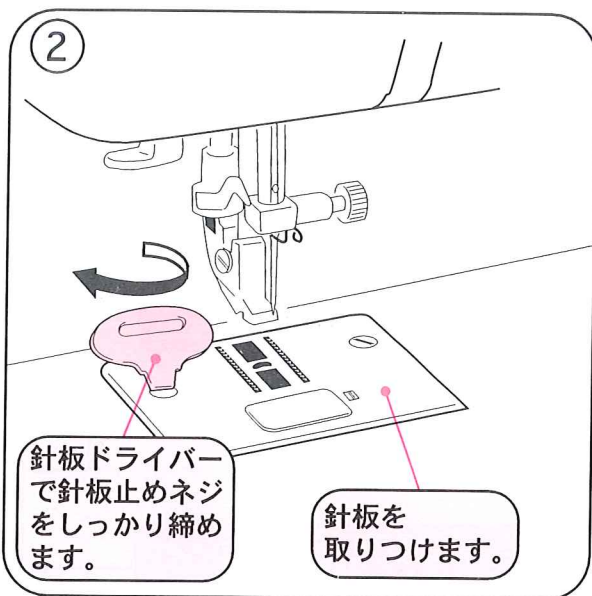
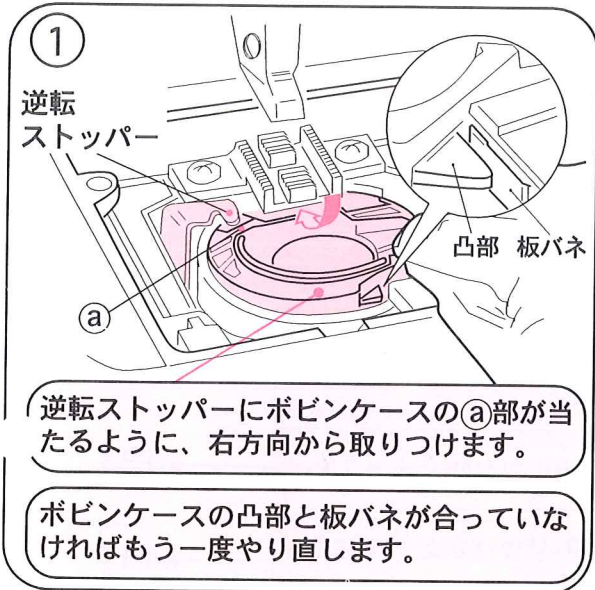


## 2. 注油のしかた



### 3.ポビンケースの入れかた

■①～②の順に行います。



※ポビンケースが正しく入っていないと縫えません。

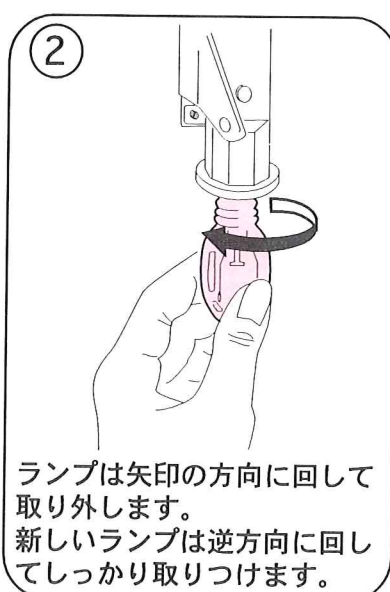
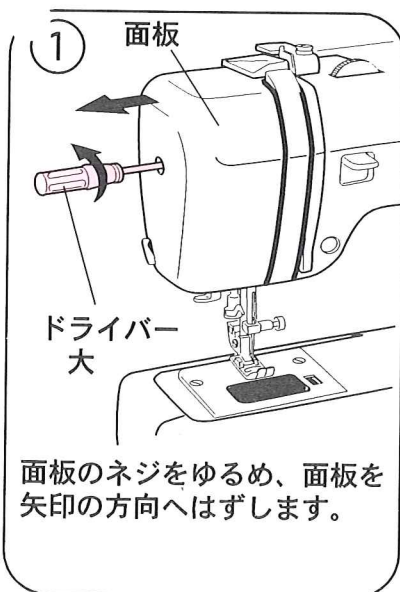
### 4.ランプの交換

⚠ 警告

🔌 ランプを交換するときは、電源スイッチを「切」にし電源プラグを抜き、ランプの熱がさめてから行ってください。やけどや感電の原因となります。

■①～③の順で行います。

♥ ランプは販売店でお買い求めください。(ランプは110V 15W 口金E12 とご指定ください)



# ミシンの調子が悪いとき

どこの調子が悪いのですか？  
まず次のことを確かめましょう。

## 現象

## 原因

## 処置

現象	原因	処置
① ● 回転しない ● 動かない	下糸巻き軸が右になっている	→ P14
	電源プラグがしっかり差し込まれていない	→ P7
	電源スイッチが「切」になっている	→ P7
② ● 音が高い ● 回転がおそい	油が切れている	→ P35
	かまの部分に糸くずがたまっている	→ P35
	送り歯にゴミがたまっている	→ P35
③ ● 針が折れる	針の取り付けかたがまちがっている	→ P11
	針止めネジがゆるんでいる	→ P11
	上糸の調子が強すぎる	→ P8、20
	布地に比べて針が細すぎる	→ P20
④ ● 糸通しができない	65/9番の針で糸通し器を使用している。	→ P17
	針の取り付けかたがまちがっている	→ P11
	針が曲がっている	→ P11
⑤ ● 布の上に縫い糸がたくさん出る	下糸の通しかたがまちがっている	→ P14
	上糸の調子が強すぎる	→ P8、20
⑥ ● 布の下に縫い糸がたくさん出る (タオルのようになる)	上糸のかけかたが、まちがっている (糸調子皿に糸がはいっていない)	→ P15
	押え上げレバーを下げていない	→ P7
	上糸の調子が弱すぎる	→ P8、20



確かめてもまだ調子の悪い場合は点検・修理の依頼をしてください。  
連絡先は保証書を参照してください。

## 現象

## 原因

## 処置

### ⑦ ● 上糸が切れる

上糸の掛けかたがまちがっている

→ P15

ポビンケースやかまに糸がからみついている

→ P35

上糸の調子が強すぎる

→ P8、20

針が曲がっている  
針先がつぶれている

→ P11

下糸の通しかたがまちがっている

→ P11

### ⑧ ● 下糸が切れる

下糸の通しかたがまちがっている

→ P14

### ⑨ ● 縫い目がとぶ ● 下糸が引き出せない

針の取り付けかたがまちがっている

→ P11

針が曲がっている

→ P11

布地に対して針と糸があっていない

→ P20

針穴への糸通しがまちがっている

→ P16、17

上糸のかけかたがまちがっている

→ P15

かまに油をさしすぎた

→ P35

### ⑩ ● 縫い目がしわになる

上糸の調子が強すぎる

→ P8、20

上糸、下糸のかけかたがまちがっている

→ P14、15

布地にくらべ針が太すぎる

→ P20

### ⑪ ● 布送りがうまくいかない

送り歯に糸くずがたまっている

→ P35

### ⑫ ● ボタンホール の右側が縫えない

ボタンホールを失敗したときの操作をしていない

→ P24

# ミシンの保管方法 ● 仕様

## 1. ミシンの保管方法

保管するときには、次のことに注意してください。

- ① 湿気やホコリの多い場所には置かないでください。（故障の原因になります。）
- ② 直射日光の当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。（変色・破損の原因になります。）
- ③ 不安定な場所に置かないでください。（落ちたり、倒れたりすると危険です。）
- ④ 逆さまや、横倒しに置かないでください。（故障の原因となります。）
- ⑤ 油煙や湯気の当たる場所に置かないでください。（故障の原因となります。）

保管してあるミシンを取り出す時は次のようにしてください。

- ① ミシンカバーを取り外す。
- ② 片手でハンドルを持って、もう一方の手でミシンの底に手を添えてください。

**2.仕様：**このミシンは日本国内向けの家庭用ミシンです。仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

型名	2D・H型	2D・L型	2D・U型	2D・S型
かまタイプ	水平全回転がま			
針	家庭用ミシン針 (HA-1)			
ポビン	トヨタ専用樹脂ポビン			
最大送り量	4mm			
上糸調子	自動タイプ	標準タイプ		
最大振幅	4mm			
回転速度	最高：700回転／1分 最低：150回転／1分			
直線針基準位置	左、中基線			
ミシン重さ	7kg（補助テーブルを除く）			
ミシンの本体サイズ （ケースをかぶせたサイズ）	幅：373mm (399mm) 奥行：156mm (179mm) 高さ：283mm (288mm)		幅：373mm 奥行：156mm 高さ：283mm	
定格電圧	交流100V（ボルト）			
定格周波数	50/60Hz（ヘルツ）			
定格消費電力（ランプ含む） （ランプ）	60W（ワット） (15W)			
電源コード	コードリール式			差込み式
フットコントローラー接続	可			不可

# 修理サービスについて

## ⚠ 注意

- ⊘ 修理、分解、改造はしないでください。  
感電・火災や異常動作でケガの原因になります。

## ●修理サービスのご相談

1. お買い求めのミシンには、購入店（保証履行者）から1年間の無料修理保証書が発行されています。内容をお確かめのうえ大切に保存してください。
2. 修理サービスは、お買い求めのミシンを末ながくご愛用いただけるよう無料修理保証期間内および経過後も、アフターサービスに万全を期していますので、購入店へ遠慮なくご相談ください。

## ●修理部品の保有期間

1. 交換修理に必要な補修用性能部品は、製造打切り後8年間、当社に保有しています。
2. 修理部品は必要に応じて、当社より購入店に供給できるよう体制を整えております。

## ●無料修理保証期間経過後の修理サービス

1. 無料修理保証期間を経過しても、修理部品保有期間中は購入店を通じて有料修理サービスをいたします。
2. 長期間にわたって使用された場合、アフターサービスに万全を期しましても、新品同様の性能までに修理できないことがあります。
3. 有料修理サービスの場合の費用は、必要部品代、出張修理の場合は出張費、ミシン送付修理の場合は往復の送料、および購入店が別に定める技術料の合計額になります。

●トヨタマシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、  
下記窓口でも承っております。

●お願い事項

マシンの背面に貼付記載されている、下記「型名」および「機種名」  
を確認の上、お問い合わせください。

型 名	〇〇〇〇〇
機 種 名	〇〇〇〇〇



●別売品はご購入店でお求めください。

(下記窓口でも承っております)

販売元：アイシン家庭用機器販売株式会社

・本社 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目11番27号  
「第2豊田ビル東館8F」

TEL (052) 582-8501

ファクシミリ (052) 582-5910

・サービスセンター 〒472-0026 愛知県知立市上重原町曇り127-1

TEL (0566) 83-1999

ファクシミリ (0566) 85-3081

製造元：アイシン精機株式会社

お客様サービス部 〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

フリーダイヤル (0120) 24-8640

ファクシミリ (0566) 24-8817